

## 自治講習所自治寮日誌——昭和六年度 第十六期生

〔表紙〕昭和六年一月二十一日起 第十六期 自治寮日誌 山形県自治講習所寮  
記載事項

一、月日 天候 当番氏名

一、記事（日課、事故、来訪者、等）

一、所感

記事は丁寧に墨筆を以てすべし。

当番者は記載終りて礼拝時先生に提出し、点検を乞ひて次番に渡すべし。

昭和六年一月廿一日 水曜日 晴 当番 結城傳治

午前十一時ヨリ第十六期生入所式ヲ行フ。来賓トシテ知事閣下ヲ始メ父兄等沢山御臨席、知事閣下ヲ始メ所長殿ノ訓示、午后〇時十五分盛大ニ式終ル。昼食午后一時半ヨリ講堂ニ於テ所長殿ヨリ個名点呼並ニ万事ニ渡ル訓示、船越先生ヨリ武道ニ対スル訓示、赤間大尉殿ヨリ教練ニ対シ各室内外ニ於ケル動作、何事モ講師ト聴ク人ノ心ノ一致、何事モ正明デアレト云フ点ニ付キ特ニ注意致サレタリ。四時二十分各先生ノ訓示終リ新ラシキ食器ニテ舌鼓ヲ打ち喜ンデ夕食ヲ過ス。午后九時礼拝ノ時高橋先生ヨリ某万年筆屋第八号室ヨリ無断出入ハ実ニ実ニ言語道断振舞ニ付注意サル。所長殿訓示中自治ハ男子ノ本懐デアルト云フ事ヲ血トナシ肉トナス。希望ヲ抱イテ寝ニ就ク。

一月二十二日 木曜日 晴 当番 伊藤儀一

今朝より午前五時起床禊場へと急いだ。高橋先生は卒先に禊して居られました。自分は非常に心に鞭打たれて有った。各自も又少なからず感ずる事多大で有ったらうと深く思はれました。其の後各室掃除して午前五時参拾五分より全員甲乙別れて階上階下を掃除して午前六時参拾分頃より皇国運動。所長先生より皇国運動の説明を各自教り其の後運動し始めたり。午前八時四拾分に終る。其の後礼拝し朝食す。午前九時参拾分より十時参拾分迄所長先生の学科、所長先生の幼年時代より現代までの生立及講習所に御入りの動機等に付いての御話でした。十時四拾分より高橋先生の学科、入所の決心及び学習、劈頭の覚悟と云ふ事に付いて御話有りました。

午後一時より赤間先生の教練、三時迄とす。午後三時後より舟越先生の武道、五時迄。

午後五時参拾分夕食す。午後六時廿分より五拾五分迄寮歌練習す。午後七時より九時迄各自自修す。後礼拝して床に就きたり。

所感

各当番の設置して各分担を完全に果し得る好機会有るを自分は非常に有難く感謝して居ります。其の理由は総てを通して責任の重大を深く強く感じます。又自分の様な狭少〔小〕なる幼稚なる心を何となく総てに對しての礼儀又物の尊を味ふ事が出来ました。尚一校時の所長先生の御話の内に普通の人の学生時代は暑中休暇を利用して家と云ふを考へずに自分の自由のみを主張して山又は海と走る。然し所長先生は心より土に親しむ即ち当時田の除草及薪の仕末と家事に手伝なされました事又は鍊磨会に入会されましたの修業の一担〔端〕を教はり、又二里半の通学なされた事、何より見ても他の学生より根強いと共に難苦を味つた先生の御話を承まはり自分は世の中に名を残す人と云ふ物は必ず常人以上の人の知らぬ苦心を打破して来て居る物と増一増感じられました。

来訪者、午後松田甚次郎様来所す。七時帰宅す。以上

一月二十三日 金曜日 晴 当番 高橋榮資

午前五時起床も何のそのといふ若い元氣連中、四時過ぎから飛び起きて禊に一生懸命だつた。自分もそんなにおそい積りではなかつたが皆やつて居つた。これではと思つて禊場に急いだ。各自々室の掃除をして甲班は武道乙班は寮内の掃除に向つたのは六時半頃であつた。それから全員皇国運動をし元氣に歩調に合せて寮歌を合唱し礼拝して朝食を済んだのは七時半頃であつた。午前九時より高橋先生の農学大意の講話があつた。農業の意義農人の資格等に就いて、特に農人としての資格には敬神の念がなければならぬといふ事。むかしより押しも押されぬ人達は皆敬神の念の厚かつたといふ事である。十時すぎから農事試験所佐藤技師の稲作研究の講話があつた。稲の形態と生理についてのお話でした。佐藤技師のお話が午後の三時まで、三時から船越先生の武道だつた。去年來の人達は山形工業学校に劍柔道の試合見学に行つた。午後五時四十分頃夕食をす。今日は入浴の関係上寮歌の練習はなかつた。七時より九時まで自修後礼拝して就寝す。礼拝前高橋先生の御注意があつた。われ等は万事に就いて修養の時代である。

来訪者なし

所感

事務当番なれざる事として万事不案内であつた。それでも先生方や助手方の御親切な御指導によつてどうにかこうにか一日を暮らす事が出来た。皆の元氣な禊姿をみて大いに自分の心はむちうたれた。自分は此の真面目な心で出来るだけの事をし、立派な人となつて此の講習所をば卒業したいと思ふ。後になつて心に悔のない様に出来るだけ大和魂をみがゝなければならぬ。これから初心を一貫してゆるみなき生活を送らうと思ふ。敬神正直親切勤勉智識技能は農人の資格である。大いに努めねばならぬ。尊い青年時代の一年を無にしてはならない。以上

一月二十四日 土曜 雪後晴 当番 佐藤哲夫

事務室当番、何となく肩がはりそうな緊張した気持である。禊も終つて好い気分を味へながらやがて班長に呼び出されて事務室に出勤する。親切な助手さんや班長に教へられて掃除も終り、幾分ゆるやかな心地で日本体操をやつた。スーとした素的な気持である。礼拝勅語奉読弥栄三称〔唱〕、少しちよしが狂つた様である。所長さんに何とも言はれないのが張合抜けがする。高橋先生の農学大意の時間、一笑会その何物であるかを教へらる。赤間先生の軍事講話続いて教練、流石に先生は軍人だけに馬鹿にでかい声を出す。あの大きな声の第一印象は頗る好い。夕飯後友達と打解けた話の語られたのは、入所以来の始めてのゆつくりとした何とも言へない気持ではある。舟越先生より柔道の話を傾聴し心のときめきを覚える。皆んな好い先生達ばかりである。僕も虚済〔勢〕を離れて裸で万人に対する事が出来たならば、少くとも法悦に似たる喜びを感じるであらう。

身を尽して仁をなす。嗚呼僕は此の理想を目差して勇猛邁進しなければならぬのだ。意義ある生活さへなし得れば地獄極楽何のその。以上

一月二十五日 日曜日 晴 当番 黒沼四郎太

本日は日曜日だったので六時起床、禊して清々しい気持に成り二十五日のスタートを切る。六時半より全員出勤して講内の掃除をし、高橋先生の指導で日本体操を終わったのは七時半頃だつた。礼拝を済して直ちに朝食に移る。其の後は各自の自習時間となる。午后より所生の多くは武徳殿の武道の納会を見に行く。

来訪者 小南幸夫

所感

年ばかり取つてゐるものゝ世間の事等は人並にも解らない私には、何となく事務室当番は片苦しい役割だった。けれども人に負ない様に立派に務め了してくれようと腹一杯に思つて居るのであるが、間の抜けてゐる私の事であるから悪い所は指摘して下さい。御願致します。今後より以上に心を締めて、心身の鍛練及物々に付いて修養に勉めて此の一手を意義あるものとしたい。以上

一月二十六日 月 晴 当番 武田立男

午前五時起床甲班武道乙班掃除、皇国運動。礼拝。

第一校時 皇国精神ト農業 所長先生

第二校時 教練 赤間先生

第三校時 地質学 安済先生

第四校時 教練（黒溝台の話） 赤間先生

後七時ヨリ自習、九時礼拝。

所感

昨年ヨリ入所シテ居タガ、事務室当番ハ今日ガ最初デ有ツタノデ、助手兄等ニハ実ニ世話ニナツタ。以上

一月廿七日 火曜 曇 鈴木米蔵

今朝はべら棒に寒い。貝が鳴らないので困つた。礼拝がすんだ時俺はほつとした。所長さんが来客やら用事やらで赤間先生が国防なるものについて質問応答によつて興味深く授業を進められた。高橋先生は植物生理学を懇切に教えられた。午后から舟越先生の習字、俺の悪筆は生れつきであると定めて、もうこの二三年は全く等閑に臥すしてゐたのだが、先生の面白しき書道論に光明を得た様な気がする。山中の石山先生が来られないので柔剣道の随意にやらせられた。三年振りで柔道なるものをやつた。すつかり錆びてしまつた。

来訪者、高橋猪一氏、小林金吾氏外移民希望者数名、山形市下條町青年団短期講習打合せ。以上

一月二十八日 水曜日 晴 当番 渡邊力

今朝五時二起床ヲシ、急シク洗面所ニ行キテ禊ヲナシ、自分ノ室ヲ掃除、事務室ヲ掃除シ、五時半ヨリ甲班ハ武道、乙班ハ掃除ニ別レテ各々仕事ヲナセリ。六時拾五分ヨリ皇国運動ヲナシテ、六時三十分ニ礼拝ヲナシテ朝飯ヲスマセ、七時拾分ニ高橋先生ニ引率サレテ、本日二十六年祭ニ当ル黒溝台戦闘記念祭ヲ千歳山附近ニテ見学ヲナセリ。拾時拾分ニ陸軍埋葬墓地ニ行キテ戦死者ノ墓ヲ参拝ヲシテ、拾一時ニ講習所ニ帰リタリ。拾二時二拾分ニ下條町ノ青年拾八名ト共ニ昼飯ヲナシ、兄弟分ガ多クナツタノデ愉快ニ舌鼓ヲナセリ。午後一時ヨリ下條村ノ青年ト共ニ穀物検査所ノ駒谷先生ニ本県ノ産業、穀物検査事業施設等ノ御話ヲ聞キタリ。同四時ヨリ班毎ニ分担ヲナシテ室内外ノ大掃除ヲナセリ。六時ニ夕飯、夕飯後自修、九時ニ礼拝、後湯ニ入りテ一日ノ疲レヲ床ニ休ミタリ。

来訪者

午前八時下條町青年団長外拾七名講習所ニ来リテ、四日間ノ短期講習会ヲ開キマシタ。所感

本日ハ二十六年ニ当ル黒溝台戦闘記念祭ヲ見学シタ結果、昔ヲ偲ビ又戦闘ハコンナニ激シキモノト感ジタリ。以上

一月廿九日 木曜日 曇後雨 金澤留吉

今朝は本当に寒さがよわかった。午前五時の起床を自分は事務室当番なる故か、いつもよりも早く午前四時参拾分に起き、早速く洗面場に急ぎ禊をしました。自分の部屋及び事務室掃除をなし、五時半より分担に別れ、甲は掃除乙は武道、各々仕事をなせり。所長さんの指導で下條青年と共に全員で日本体操を始め、終つたのは七時半頃でした。講堂で一同礼拝をなし、後ち朝飯を済せり。八時頃より所長さんの皇国精神ト農業に付き午前中習ひました。亦偶然本校卒業生国井君の満洲経営の御話を聞き、非常に感服致しました。十二時半頃昼食、一時より赤間先生より行進と手旗を習ふ。参時半より県庁の社会課齊籐氏より珠算を午後五時迄習つた。晩食は六時に戴きました。七時より各々九時迄自修を致した。九時に礼拝。疲れた身体を床にせり。

来訪者

午前九時五拾分頃、第拾貳回本校卒業生の満洲経営者国井君ほか一人。后後四時頃移民朝鮮平康行き川村君ほか一人。以上

一月三十日 金曜日 曇 神林武男

午前五時起床、乙班掃除甲班武道、日本体操礼拝。

第一校時 皇国精神と農業 所長先生

第二校時 皇国精神と農業 所長先生

第三校時 稲作 佐藤先生

第四校時 稲作 佐藤先生

後七時より自習の時間を茶話会十時。礼拝。

所感、昨年より入居たが事務室当番は最初で有つたので助手兄等には実に御世話様になりました。

一月三十一日 土曜日 天気 晴 当番 清野清三郎

午前五時起床して禊をす。入所以来十一日一回毎に真の精神を理解する事が出来るに至れり。ついで甲班は掃除、乙班は武道をなす。終つて一同皇国運動をなし寮歌行進を行ふ。更に講堂に会して礼拝をし朝食をなす。八時半より所長先生の「禊」に関する学科を授〔受〕講す。三日前より短期講習に入所せる下條青年団員一同も今日限り退所の日程なるに依り、所長先生は特に懇切に講義せられたり。十時四十分より赤間大尉殿の軍事講話あり。良兵即良民の意義を解義せられたり。午後一時半より同五時迄教練なり。馬見ヶ崎河畔にて伝令並に疎開の練習をなし、所前に帰りて整頓の練習を行ひ教練を終りたり。ついで六時半夕食をすまし後は自由時間とす。九時礼拝して就寝せり。

所感

入所以来私は総べての当番に先立ちて事務室当番を拝命せる事を、非常に感激の念に打たれたり。即ち礼拝の際に教育勅語を捧〔奉〕読し、弥栄の三唱の音頭をとりたる其の際は、実に吾乍ら感激の念を深うせるなり。更に所長先生の御講義は一層胸に強く響き是亦感涙にむせびたり。午后よりの教練は馬見ヶ崎河畔に於て行はれたるが、白雪の上に老松緑をほこりて樹つ雄壮雅麗の地に於て教練をなしたる感じ亦更なりき。之を要するに本日一日は総べての点に於て感激に始まり感激に終れるなり。入所以来本日の如く深く強く自覚し且研磨せし日は無し。皇国精神の真意を解し益々弥栄の理想に向つて専心邁進せんと決心せり。

来訪者、本所卒業生樋口善三郎兄（午后七時頃）

二月一日 日曜日 天気 曇 佐藤省吾

起床六時、禊六時半より全員大掃除、甲班階下乙班階上、掃除が終ると皇国運動、続いて寮歌行進を行ふ。七時半頃には人員少なきも実に熱誠なる弥栄を唱へて礼拝が終る。今日は空薄く曇つて居るが実に静かな日で人々は帰宅し惑〔或〕は山形高等学校弁論会に惑〔或〕はスキーヤーとなつて大部分外出した。

所感

目覚したのは起床時間二十分前自治寮は至つて静かだった。人々の安眠に害してはと思ひながら静かに足を運ばず。禊、我を忘れた一瞬間、……気は実に静かになつて前に神の姿が現はれたかの様な感じがした。今日は大部分の人々が外出した。そうして夕方には赤黒くなつた様な雪を踏んで門に向つて帰つて来る。彼等は誰も大なる希望と明朝の禊に堅い決心を胸にして歩いて居るであらう。

二月二日 月曜日 晴 当番 渡辺茂

今朝午前五時起床し、甲班武道乙班掃除し、全員道場に集合し日本体操す。講堂に集まりて礼拝し

第一校時 習字 船越先生

第二校時 教練 赤間先生

第三校時 地質学 安齊先生

第四校時 教練 赤間先生

午後六時廿五分より寮歌の練習、七時より九時まで自習を行ひ九時廿五分に礼拝し後は寝に就く。

所感、今朝五時にて起床する時間の際、病気の為太鼓も打たず、助手の人より打たれた事は誠に私の責任として尤残念な事であつた。就ては午後の教練の時間の際赤間先生より暇を貰ひ、又須藤助手からも病気の為暇を貰ひ、私としては此の有意義なる一日を無駄に暮してしまつた事は以感〔遺憾〕である。今後一層奮闘して責任をまつとうしたいと思います。

二月三日 火曜日 晴 当番 石山正蔵

今朝五時起床シ甲班掃除乙班武道、一同皇国運動シ講堂ニ集合シ礼拝シテ食事ス。八

時半ヨリ講堂ニテ授〔受〕講ス。

第一校時 農学大意、高橋先生

第二校時 農学大意、高橋先生

第三校時 習字、船越先生

第四校時 剣柔道、船越先生

食事六時にします。食後より自習す。九時礼拝して就床す。

所感

入所以来私は事務室当番をしたのは最初で、週番係より手伝をしてもらつて厚く御礼す。

二月四日 水曜日 晴 当番 菅原光胤

午前五時起床、甲班武道乙班掃除。前八時三十分皇国運動、其後礼拝。九時三十分ヨリ十時迄金井村研究、金井村村長来所ノ上御教授ナサレタリ。前十時四十分ヨリ四時迄穀物検査所ニ行ク。后四時三十分大掃除ヲナス。后五時三十分晩食セリ。其後入浴ヲス。七時九時迄自修。其後礼拝。

所感

私は当番始めてで何も解らなくて本当に困つてあつた。けれども親切なる助手が教へてくれて、先づ何事もなく過ぎた事を何より喜びます。親切に教へて下さつた助手に厚く御礼申し上げます。今日穀物検査所に行つて種々な講話を聞き感じる処有り、亦生徒口には質問に花が咲き非常に愉快で有りました。穀物検査所生徒の態度及び掃除の悪いのに驚きました。それを見てこの自治寮は流石の如く自治生の自治寮であると我事の様喜びました。

二月五日 木曜日 雪 当番 和田栄造

午前五時起床して禊をす。甲班掃除乙班武道、全生徒皇国運動行ふ。礼拝し食事終る。午前九時より十時迄所長先生の皇国精神。前十時より十一時迄珠算、后一時より三時迄農学大意、三時より五時迄教練し終る。后七時より礼拝迄各自自修時間なり（移住者短期講習始る）。集合午后一時より后九時礼拝就床。火之用心肝要ナリト特ニ感ゼリ。所感、私は事務室（当番）非常に心持良く終た。私は感じたのはまだ始めてだから良くわからない。此ノ後はしつかりやるつもりです。最後に日誌は綺麗に書くべし。互



に気をつけませう。

二月六日 金曜日 小雪 当番 八田又治

午前五時起床各自襖各室掃除、同五時半ヨリ甲班ハ移住者諸君ト武道乙班全寮掃除、同六時半講習生ト共ニ皇国運動礼拝終リテ食事ヲナセリ。九時半ヨリ高橋先生ノ農学大意、十時半ヨリ佐藤先生ノ稲作研究、午後一時半ヨリ稲作、午前ノツズキ、三時半ヨリ柔剣道五時終ル。七時ヨリ九時マデ自習礼拝就床。

移住者講習生ハ午前中所長先生ノ講話、午後ハ嚴重ナル身体検査ガアリマシタ。

所感

今日ハ伊藤正憲ガ江波病院ニ入院セラレマシタノヲ見マシテ、人間ハ身体ガ壮健ナル時ガ一番幸福デアルト深ク感じマシタ。諸君モ身体ニ氣ヲ付ケ一ソウ修養サレン事ヲ。又伊藤君ノ一日モ早ク全快サレン事ヲ祈リマス。最後ニ一日ノ当番ガ事ナク終リマシタ事ヲ感謝致シマス。以上

二月七日 土曜日 小雪 当番 森谷権之助

午前五時起床、各自襖各室掃除、五時半ヨリ甲班ハ掃除乙班ハ武道シ、全員道場ニ集合シ皇国運動後礼拝、終リテ食事ヲナセリ。八時半ヨリ所長先生ノ皇国精神ト農業、十時ヨリ十二時マデ所長先生ノ皇国精神ト農業、午後一時ヨリ赤間先生教練、午後四時終ル。土曜日デ自習ナシ、九時礼拝就床。

所感、私ハ事務室当番ニ当リマシタカラ、喜ンデ事務室ヲ掃除シマシタガ、始メテ事務室シマシタノデスカラ順序ガハカリマセンノデ、高橋先生カラ順序ヲ聞キマシテ掃除ヲシマシタ事ヲ心強ク感じマス。今後カラハシツカリ掃除ヲシマス。最後ニ二月七日ヲ何事モナク終ヘマシタ事ヲ先生並ニ講習生一同ニ厚ク感謝致マス。以上

二月八日 日曜日 雪 当番 伊藤金治

午前六時起床し襖して清々しい元氣を持つて八日のスタートを切る。六時半より甲班階上乙班階下で掃除し、短期講習生は武道し、全員が須藤助手の指導で皇国運動を終つたのは七時半頃だった。礼拝を済し直ちに朝飯に移る。其の後は各自自由行動して大部分外出し、短期生は高橋先生の指揮で十時頃緬羊見学に出発し、帰所致したのは五時頃であった。七時より各自自習、九時にて礼拝し後は寝に就く。

所感、入所以来私は初めて事務室当番の任にあたり、此れも修養の一足である、又人生の一足であると思ふ。私等人生に於ける最も重大なる時機に際して居私等は、今にして将来の大方針を確立して目的理想に向ひ、講習所で修養して社会の荒波を立ち分けて行きたいと思ふのであります。時は時々刻々に進み、此の責任のある一日を楽しみ、本日も無事通過致しました事は最後に感謝致します。

来訪者、成生村役場吏員一名。以上

二月九日 月曜日 雪 当番 澁谷吉郎

事務室当番ニ当リ不安ニ感じタト云フノハ、果シテ完全ニ万事ガ出来ルカ否カト云フ事ダツタ。而シ出来得ルダケ行フ積リト決心ヲシタ。朝四時半ニ床ヲ蹴ツタ。其レト同時ニ襦ヲ行ツタ。ソウシテ精神ヲ清メ新シキ九日ヲ迎ヘタ。五時半ヨリ甲班武道乙班掃除、全員七時ヨリ皇国運動ヲ行フ、指導者ハ所長先生ナリ。場所ハ道場及ビ階段下ヲ使用ス。移住者モ参加ス。皇国運動後所長先生ノ注意アリ。其ノ注意ハ皇国運動ヲ形式的ニ行ツテ居ル人ガアルカラ、精神カラ皇国運動ヲ理解シテ真剣ニ行ヘト云フ注意デアツタ。注意事項ヲ述ベタ為メニ時間ヲ取り、寮歌ヲ取り止メタ。其ノ後礼拝ヲ行フ。終了後朝食ヲナス。午前九時ヨリ道場ニ於テ所長先生ノ皇国精神ト農業、清水及衛先生ノ講話ヲ聴ク。午前十時半ヨリ赤間大尉殿ノ軍人講話、衛生大尉、第三校時午后零時半ヨリ継続シ、午后五時迄山形高等学校教授安齊先生ノ地質学ヲ聴ク。扇状地及ビ朝鮮ノ地勢及ビ気候ニ関スル講話ナリキ。少カラズノ参考ニナル。五時半夕食ス。七時ヨリ自習時間、九時ニテ礼拝ス、就寝ス。

所感、事務室当番ニハ無経験ナ僕ハ仕事順序ガワカラズ、不安ニ罹ラレタ。而シ助手ノ指導ヲ得テ事ナキヲ得タ事ハ、僕トシテハ誠ニ喜ビトスル処デアル。又助手ノ指導ノ宜シキヲ得タ事ニ対シテハ僕カラ深謝シマス。所長先生ノ皇国精神ト農業ニ対シテハ特ニ胸中ニ突入ス。自治講習所ト云フ処ハ自分ノ想像以上束縛的ナ処ト思ヒノ程案外ナノニ驚嘆ス。而シ反省シツ、修養スレバ自治ニ副フ処ノ人間ニナルト思ヒマス。僕ハ理想実現ニ向ツテ邁進スル覚悟ナリ。如何ナル障害ガアラウトモ堅固ナル意志ヲ以ツテ其ノ障害ヲ飛び越エル心算ナリ。所感終リ。

二月十日 火曜日 清〔晴〕 当番 武田正

朝五時起床各自襦し各室掃除、五時半より甲班は掃除乙班及び朝鮮移民の方々と合同

武道、七時より七時半迄全員皇国運動、七時四十分より朝食、八時四十分より学科を行う。

第一校時所長先生の皇国精神と農業、移民諸君と講堂に於て。第二校時五十嵐先生の郷土史私等長期講習生だけ。第三校時午后一時十分より江波先生の諸種の伝染病の話、主に朝鮮移民の方々に大切な点、四校時午后四時より全員大掃除。

所感

九日礼拝のの前に事務室当番と云はれた時にふと思つたのは、勅語棒〔奉〕読及弥栄を満足に出来るか否と考へたが、其の時に成つて見ると割合に事易かつた。だが事務室に於ては何処から手を出すか何をするか少も知らなかつたので、皆助手さんや先生方に御世話を致し受け実に申訳有りませんでした。

二月拾一日 水曜日 雲 当番 吉田眞平

今朝五時起床禊ヲ行ヒ、各自室掃除ヲ行ヒ、甲班武道乙班掃除デアツタ。八時依り皇国運動後八時半依り紀元節ノ式ヲ行ウ。其ノ時朝鮮平康産業組合ヨリ白米ヲ送り来リ、三物ヲ神ニ上ゲル。田ニシテ依り初メテ米ヲ取リタルモノナルト。九時式終ル。

十一時半依り一笑会総会有リ。午後依り終り後朝鮮開發協会総会有リ。五時半終ル。

七時依り自習ヲ行ヒ九時礼拝。

所感

初メテ事務室当番ヲ行ヒ、何モ知ラナカツタガ、皆助手先生ノ御世話ヲ致シ受け実ニ申訳有リマセン。

来訪者

一笑會長高橋大兄、友部加藤先生代理ノ先生外六十名位デ有リマス。加藤先生ハ風痛ノタメ来所ナサレナカツタ。

二月十二日 木曜日 晴 当番 小関久雄

朝五時起床、禊ヲ行ヒ各自室掃除、後甲組掃除乙組武道、朝鮮移民ノ方々ト合同、七時ヨリ七時半迄、七時四十分ヨリ全員皇国運動（動）、八時ニ朝食、九時ヨリ学科ヲ行フ。第一校時所長先生ノ皇国精神ト農業移民諸君ト講堂ニ於テ、第二校時全午後一時ヨリ社会科ノ齊藤先生ノ第三校時、第四校時三時ヨリ赤間先生ノ教練午后五時ニ終ル。五時半ニ夕食ス。七時ヨリ自習時間九時ニ礼拝シ床ニ就ク。

来訪者

本校卒業生安達清治君外三名、午后六時半一笑会長来ル。

所感

家ニ居ル時ハ朝七時ニ起キルノガ常デアツタガ、入所以来ハ朝五時起床、禊ヲ行ヒ、其レニ事務室当番ニ当ツテ見ルト、自分ノ責任ガ重イノデ、朝ハ三時頃ヨリ床ヨリ出テハ時計ヲ見シテ五時ニナルノヲマツテ大〔太〕鼓ヲ打チマシタガ、又事務室当番ハ初メテデアルカラ皆何モ知ラナイノデ、助手サンヤ先生方ニ御世話様ニ成リ、厚ク感謝致シマス。又一心ニ修養致シ、村ニ帰テ中建〔堅〕トナツテ働クツモリデス。

二月十三日 金曜日 晴天 当番 佐藤賢三

朝五時起床、各自禊を行ひ各自室掃除を致し、五時半点呼、甲班武道乙班掃除を致し、七時半一同皇国運動、ただちに寮歌行進を致し、八時一同講堂にて礼拝して朝食をいたゞきました。

九時半前終了式（平原講習）を致し、拾時十五分より佐藤富十郎先生の稲作研究教〔習？〕ひて十二時半頃昼食に雷麦パンをいたゞき、一時より稲作続き教ひて、三時より剣道柔道一同でやり五時半に終つた。夕食六時過ぎ食して七時より各自自修をし、九時礼拝して各自安眠につく。

感想

私は昨年以來入所して事務室当番に當つたのは初めてであるので、先生助手様より前の夜より先生等に聞きて、朝は週番等に御世話になり、一日の当番を無事にて終た事は、先生助手様等のお蔭と、我ながら喜びました。私のもたらぬのにしみじみ気が付き今より注意して先生の教を良く□ひます。以上

二月十四日 土曜日 晴 佐藤健二

朝五時起床各自禊致し後室内掃除、五時半集合、甲組掃除乙組武道、六時五十分より皇国運動、七時半礼拝、八時朝食、八時半ヨリ高橋先生ノ農学大意有リタリ。十時半ヨリ教練、中食後一時ヨリ四時半マデ屋外教練致したり。本日大高根村高橋君及樋口君等帰宅セリ。高橋猪一先生午後五時ノ気車にて帰萩セリ。五時四十分夕食、七時ヨリ自習ハ今日ハ有リマセンノデ随意で有リマシタ。九時礼拝、九時半就床消灯。

本日特ニ書き皆サンニ喜ンデモラウ事ガ有リマス。其レハ私等同家族の伊藤（正）君

ガ、我等が待つニ待ツタル全快ノ日ガ来リテ、本日退院致シテ、自家ニテ少々静養致シトノ事、伊藤君ノ祖父様ガ御知ラセ有リマシタ。今日ハ何タル喜バシイ日デアリマセウ。今後共伊藤君ノ健康ヲ一同デ御祈リ致シマセウ。

二月十五日 日曜 曇 齋藤好七

朝は六時に起床し休み心を促す日曜の朝でも、みんなは物ともせづに禊をなして、全員で寮内の掃除をなした。其の時は六時半頃であつた。掃除終へて七時半より元氣の變らぬ高橋先生の指導に依つて日本体操が始つた。長時間にわたつて行進しつゝ寮歌をやり、して漸く終へ直ぐ礼拝にと急がれた。声一杯に弥栄を三唱して講堂を出た。それに続いて食事の鈴を聞き、実に氣持良く朝飯を戴いた。その時は既に八時過ぎであつた。其の後は帰宅するものあり。又市街に外出するものもあり。各自は随意に行動開始となつた。外出者数は八割内外に達したので昼食は甚だ不揃であつた。夕食は各各満足さうな顔付きで箸を取つた。食後一時間程休み七時より自修をなし、九時で礼拝をなして安き眠りに就く。

感想

初めての事務室当番にして、朝は先づ起床の太鼓、思切つて力をこめて打ち出した。直ぐに掃除にかゝつたが不馴れのストーブ炊等は中々やられない。それで茂木さんからは色々と御世話になつて漸く終へた。私は独り事務室に居ると、大抵の者は外出とて赤札にして出て行く。寮内は極めて静である。時計は早や十一時を告げた。しかもゆつたりとした音で室内を漂ふて何所かへ消て行つた。それに次いでストーブも矢張り微妙なる音楽を奏しつゝ活動を続けて居る。器物ではあるが与へられた自分の任務を寮内に人が居て居なくても完全に果して居る。私は深く教へられる処があつた。夕方近くもなつた。門前の道にはいつもの通り豆腐屋さんは呼子を鳴らしてやつて来た。道場で真面目な青年は柔剣道をさつきから続けて居る。うむ、僕も此れより豆腐屋さんに負けず、又柔剣道者に負けずに努力しませう。確に……大いに。終り。

〔記名はないが筆跡が異なる字で〕単ニ書ク丈ケデナク只今、今スグ実行スベキト思フ。御互ニ皇国弥栄ノ為メ自治ノ本領ヲ發揮イタシマセウ。

二月十六日 月曜日 曇後雪 安達弥之輔

本日はめつつきり寒い。外を見ると枯木に花が咲いた様にシラブイテ居りました。寒さ

もくつせず太鼓を打ち出して起床の合図を致せり。禊場に行つて見ると皆禊に振ひ立つて天晴な気分になりて甲班武道乙班掃除をやりたりき。六時半より一同道場に集りて日本体操をなし得たり。

第一校時農学大意高橋先生、第二校時軍事講話赤間先生、第三校時地質講話安齊先生、第四校時教練赤間先生、五時に学科を終りたり。

所感

朝の起床合図が送れるや否やと不案〔安〕に思つて居りましたが、突然神様に恵まれて四時に起床しました。厚く厚く神に感謝致します。事務室掃除も週番より手伝を受けて案外早く出来、掃除をする時冷水で板之間を拭いたのだ。自分に取りては非常な修養を得ました。又無形の宝を戴いた様な感に打たれました。近頃は皆履物に不注意の様になりましたから、入所当時の心持を持つて戴き度い。

来訪者

萩埜の高橋先生、満洲より松平様外一名

二月十八日 火曜日 晴 大沼三郎

今日ハ五時起床、甲班掃除乙班武道、終リテ鈴川神明社参詣、日本体操弥栄三唱ス。帰リシ時ハ七時スギデシタ。

第一校時 農学大意、第二校時 郷土史、第三校時 習字、第四〇〇 剣道柔道

今日ハ初メテ事務室当番デ、助手先生ニ御迷惑ヲ掛ケマシタ。旧正月一日デ意義アル一日デアツタ。ホラ貝モ吹クコトモデキジ、外ノ人ニ事務室当番ノ名ヲ借シタ様ナ物デ有リマシタ。先生モ助手様モコレハト思タデセウ。

僕モ意義アル一日ヲ無意味ニ当番ト云フ名デ日ヲ送リシ事ハ、イカンデ有リマス。七時自修九時礼拝、後ヲ床ニツキマシタ。以上

式月拾八日 水曜日 晴 当番 石井

例日の如く午前五時起床、天晴れの気分にて禊をやり各員室掃除、甲班武道乙班掃除をやる。皇国運動礼拝、第一校時に金井村研究、実に意義深き講義である。第二校時は高橋先生の植物学の呼吸作用に就て、第三校時穀物研究、駒谷先生の講話、午后三時半終りた。掃除に取掛る。各員分担される場所に就きて専心にやりて五時二十分頃図書室を残した外全部終る。七時ヨリ自習九時礼拝、九時三十分消灯、床に就く。

来訪者、小関兄の母親来観す。

所感としては大した事もなく一日を過した。は一重に皆様の御蔭と感謝する。以上

式月拾九日 木曜日 晴 当番 奥山貞夫

本日は自分の当番でした。喜んで朝四時半に起、天晴れ禊ぎをし直に当番掃除に取掛り五時に起床の合図をした。五時半より甲班掃除乙班武道、一同皇国運動をし礼拝し朝食事をした。

第一校時農学大意高橋先生、第二校時弥栄講義高橋先生、第三校時珠算齋藤先生、第四校時教練赤間先生

所感

自分は入所以来当番が初めてなので何も解らなかつたので、先生や助手の援助で一日を暮しました。今後は宜しく先生や助手の教を守りて第二回目の当番全うしようとして、今日より固き決心をしました。講堂に集りて九時礼拝、后九時半に床に就いた。弥栄。午後六時ヨリ午后七時迄我等ノ尊キ天晴レナル意味深重ナ寮歌、強ク高ク心ノ奥カラ練習セリ。完

式月二十日 金曜日 雪後晴 当番 伊藤安男

午前五時起床して禊を行ひ各室掃除を済して後に甲班は武道乙班は所内の掃除、両班共に終りて大和働と寮歌練習行進をしました。終りて後礼拝弥栄三唱して朝食に移りました時は七時三十分でありました。第一校時は農学大意高橋先生、第二校時は稲作研究の佐藤先生でありました。昼食は十二時、第三校時は稲作研究で佐藤先生の講演でした。第四校時は柔道剣道船越先生、午後五時三十分日課は終わりました。夕食は六時に済みました。

来賓者、西澤忠右エ門、土田重雄、両殿、高橋猪一先生

所感

朝起きに対して不安の内に5時に起床して禊を行ひ事務室を掃除しました。何も知らない私が皆助手さん方の御世話を戴きまして今大過なく終へる事が出来ました。此の点は厚く御礼申し上げます。事務取扱ひの内には次から次へ教へられました。実に修養の点が多々ありました。これから後は追進に追進を重ねまして諸先生並に助手さん方御指導下さった万分の一に酬ひる覚悟であります。今後宜ろしく御指導を願ひます。

土田重雄殿午後六時所全十時出發セラル。所長先生鮎貝ニ出張ノ処、帰所セラル。

二月二十一日 土曜日 晴 三浦貞雄

朝五時前起床して直に禊を行ひ馴れぬ僕が事務室掃除の内容が不解なる為、週番の人共に掃除を致した所、高橋先生より掃除の順序を懇切に御話下され、事務室当番大過無くはたし事出来、此等高橋先生の御指導結果なり。一校時高橋先生より植物養分生成並肥料の最も大切なる三要素等懇切御教られました。二校時より三校時迄赤間先生より教練に付き重要な講話を預り、第一教練は修養の基礎である。第二自己は愉快に教練を行ふ事。今後は毎朝行の弥栄の理想実現と大和魂の精神を持ち自治の本領をはたし決心なり。午後七時頃庄内会催し出席致しました。

二月二十二日 日曜 (天候晴) 当番 阿部義雄

円かなる夢より破つた自治鼓は今日は少し嫌でない顔をして居る。今日は日曜である。寮友になると少数になるが、今日の日曜は分けても少数の様である。十有余名位だ。朝の靈気を思ふ存分吸つて掃除挙行、朝食を第二進しとして日曜日の幕は上がる。或は尺八ヲ鳴らす、どら声にて得意の「大〔太〕平洋」を歌ふ。嗚呼自治寮は愉快に進む。徹底的自治寮の□□として進みたい。十一時頃にはねずみ位の音より何一つ聞□むとして無し。静かに静かに日曜の自治寮は進んで、黒いとばりに包まれて団欒の後は静かに吹〔更〕けて行く。

来訪者、一笑会長師、先輩二人その他（終）。

二月二十三日 月曜日 晴 柏倉正志

新聞紙上に依ると今朝は近日に無き寒さなり。正五時起床、禊場へと急ぐ。事務室を掃除して五時半より甲班武道乙班掃除を行ふ。六時半よりの皇国運動に所長先生出席る〔する〕。礼拝して朝食す。

第一校時 普遍我について 所長先生

第二校時 軍事講話 赤間先生

昼食、ライ麦パンを食す。本日より県営萩野移住者講習会有るので、十五六名の講習生来る。午後二時より宣誓式を行ふ。県よりは内務部長、耕地課長、式場に臨席す。三時閉会し五時迄赤間先生の教練を庭で行ふ（前の復習）。六時頃短期生と一所に夕食



す。七時半より事務室にて委員会あり。短期生は皇国運動を練習した。礼拝して九時就床。消灯。

来賓者、内務部長、耕地課長来所。高橋猪一先生  
永らく休んでいた（病気の為）伊藤正憲君帰所。

所感

今日一日の業務の内には修養上大切な点が多々ありました。それを実現実行する覚悟なり。又自己の短所をも知り得た。  
大いに自重して足りぬ点を禊して明日より是れの修養に励むべく禊すべし。之れ普遍我なり。

二月廿四日 曇り 朝倉忠右エ門

〔上部欄外に「最ト真剣ヲ旨トスベシ」とあり〕午前五時起床し各自禊し、室掃除し五時半ヨリ甲班は掃除乙班武道し、萩野移住者と共ニ皇国運動し、礼拝終ると朝ノ食事ス。第一校時萩野開墾事業に就て、所長先生。第二校時、同。第三校時、農学大意、委員会決議事項報告、高橋先生。第四校時、剣道、船越先生。夜食事ス。七時ヨリ各自自習し九時礼拝し寢床をなす。

所感

事務室当番は初めであつて、朝起きた彼はどうするかと云へば、其の意気込を以て顔を洗て、又は□水を浴びに出掛けて行く。是□□…□□である。何人□□しく□でず致して居つた□で□□何故に顔を洗ふに何故に水を浴びるか決して理窟ではない。修養です。誠に御世話になりました。

二月二十五日 水曜日 当番 前田忠四郎

今朝五時に起床して禊をして五時半より甲班武道をして乙班掃除をし六時四十分ニ終り、六時四十五分より日本体操を始め、其れが終ると礼拝しまして、七時四十分ニ朝食をしました。

第一校時は高橋先生の農学大意、第二校時は清水先生の農村問題に付いての御話を聞きました。三校時四校時も同上、五時に終わりました。五時半より大掃除をし六時半に終りまして夜食を致しました。七時より九時迄各自自修をし終つて礼拝をして各自床に付きました。そして午後拾時に消灯致しました。

所感

所感としては自分は事務室当番の経験もなく助手の教へを受けました。で私は最も感じましたのは、目上の人には自分が尊敬する体度を以つてしなければ「ば」ならないと先生から注意下されまして私深く感じました。此れが今日の当番の失敗した所であります。今から実施致します。

注意

次ノ当番記入ノ際ハ必ず前記終行ヨリ一行アケテ記入スルベシ。尚当番者ハ天候モ記入スベキデアル。次ノ当番ヨリ実行シテ欲シイ。

二月二十六日 木曜日 午前雲午後晴 当番 長谷川與市

午前五時起床シテ禊ヲ行ヒ、各室内ノ掃除ヲ済シテ後ニ甲班ハ所内ノ掃除乙班ハ武道両班共ニ終リテ、大和働卜寮歌練習行進ヲシマシタ。終リテ後礼拝弥栄三唱シテ、礼拝ガ終リテ朝食ヲシマシタ。午前九ヨリ清水先生ノ農村ニ関スル講話十二時マデ、午後一時ヨリ午後五時マデ同講話、五時半晩食スル。六時半ヨリ茶話会ガアリマシタ。一、開会ノ辞、二、清水先生ノ才話、三、所感ノ発表、四、所長先生ノ才話、五、茶菓分配、六、余興、七、閉会ノ辞、以上

七時ノ気車デ清水先生ガカエル。我等一同弥栄三唱シテヲクル。十時半茶話会ガ終ル。礼拝ヲシテ床ニツク。

所感

朝伊藤君ヨリ起され四時に起きました。そして禊を行ひ約一時間ぐらいまつてをりました。五時にタイコをならして全員ヲ起す。五時二十五分に事務室を掃除しました。何も知らない私が皆助手さんの御世話を戴きまして、今過なくたへる事が出来ました。此の点は厚く御礼申上げます。今日は清水先生の講話ヲきゝに農事試験其ノ他近村の青年が来ました。道場に集合。事務室当番は修養の第一足であると思ひました。

二月二十七日 金曜日 曇 当番 佐藤武夫

朝五時起床して自治寮第一の行事たる禊を行ひ、昨夕の茶話会の名残りもきれいさつぱりと各室掃除も済せし後、甲班武道、乙班所内の掃除に日課を進めて大和働き、莊厳なる弥栄、共に礼拝を終つて楽しき朝食におちつく。

第一校時 農学大意高橋先生。

第二校時 鈴木練太郎先生の御話

第三校時 船越先生の御習字科

第四校 〃 武道―船越先生、武徳殿ヨリ鈴木先生来所ス（武道）

所感

早く目がさめてねておる事が出来なかつた。何事も一生懸命に出来る事がうれしい。初めての事務室当番になつて、何事も不得手な事は所に対してお詫をしておきます。

二月二十八日 土曜日 雲 遣水伊右エ門

今朝は午前四時半に起床して禊場へ急いだ。見ると樋口君外数名の人が元氣よく禊をしておられました。自分は非常に心に鞭打たれて有つた。朝の合図をして事務室を掃除しました。午前六時五拾分に萩〔萩〕野移住者諸君と共に日本体操をしました。午前八時礼拝をして朝飯を頂きました。第一校時には講堂で移住者と共に所長先生ノ力強きお話がありました。

第二校時には萩〔萩〕野移住者短期講習会の終了式にて内務部長殿を始め御臨席下されて御訓示がありました。第三校時には身体検査、第四校時には所長先生の所感と云ふ題の元にお話がありました。午後五時半に夜飯を頂きました。自習時間なく九時礼拝をして床につきました。

所感

今日の事務室当番にあたつて気のつかない私は諸先生の教をうけて務めました。朝の礼拝の時には神々しく大和魂の精心〔神〕に云ふが実に心強く感じました。諸先生、教を頂き今後一層熱心に当番に務めます。

三月一日 日曜 雪降 菅野榮五郎

朝六時起床であつたが僕は当番なので五時半に起床して禊場に行つて歯を磨き禊を致し晴々とした気分ので一日のスタートを切つた。六時半全員掃除の合図の貝を吹き、自分事務室の掃除に取りかゝつた。週番の人に手達てもらい掃除終り、七時半の時大和運動始め、八時十五分の時終へる。八時半礼拝勅語捧読弥栄三唱致して礼拝終る。

其の場で高橋先生より読書の大切な事を教へられ僕も大いに感じた。礼拝終へるとすぐ朝食、朝食後は各自見学自修、午前十二時昼食、午前中は来訪者なし。午後一時半雑誌弥栄を持つて来た（千百冊）。午後五時半夕食、午後中也来訪者なし。七時より自

修致し九時礼拝して寢床に着く。外出者午后二時の時二十五名。

所感

事務室当番は始なので何も出来ず先生達や助手先輩に色々御世話になりました。一日を無事に任務を果しました。朝の勅語捧読の時は五慾凡〔煩〕腦〔惱〕は無くなり、唯に信あるのみであった。弥栄三唱は残念ながら声が出なかつたので、思ひのまゝ唱る事の出来なかつたのは残念であつたが、今日位心の晴々とした日はなかつた。終り。

三月二日 月曜日 晴 樋口榮一

午前五時起床、禊、其の後各室掃除、五時半より甲班武道乙班掃除、七時より皇国運動、今朝より初めて佐藤三郎君より順々にする様になつた。其の後礼拝食事。

第一校時 皇国精神と農業 所長先生

第二校時 軍事講話 赤間先生

第三校時 地質学 安齊先生

第四校時 教練 赤間先生

午後六時三十分より寮歌練習、七時半より自習、九時礼拝、後床につく。来訪者、原田十郎氏。

所感

軍隊生活一ヶ年半、事務室当番や種々なる勤務には何時も不寝番に頼んであつたが、この自治寮生活にはそれもなし。僕のような朝寝坊にははて起床には起る事が出来るかしら。又遅くなつたらどう申訳しようかと心配であつた。それに当番の分担に當つて自分の任務を完全に果し得る事が出来得る事かとの二つ心配の種で、床についた。床についた後も頭の中を往來する。第二の方は自分で出来得るだけやらう。ペ〔べ〕ストを尽すまでと思つたが、第一の方は不安である。然しそれもおこななる事だらうと思ひながら眠りにつく。夜半ばにして目が冷める。もう起床だらうと時計を見れば二時半、早いなあと思つて横になつた。其の後、眠る事も出来得ず四時半にて起床した。あゝ此れで朝寝坊はたすかつた。その時の手伸しさ、とにかく今日の一日は緊張した気分で暮し得たのに感謝致します。此の気分を持ちをもつて自分の生涯に延長致したいと思ひました。終り

三月三日（火） 晴 当番 結城傳治

朝五時起床禊、其ノ后各室掃除、五時半ヨリ甲班掃除乙班武道、七時ヨリ皇国運動、佐藤健二君指揮ヲ取ル。所長先生ヨリ良出来ダガみたましづめニ注意スレバ寮歌ハ尚々最上ナリト一同注意ナサレタリ。礼拝朝食。

第一校時 皇国精神 所長先生

第二校時 郷土史 五十嵐先生

第三校時 習字 舟越先生

第四校時 剣道 石山先生

午后六時半ヨリ寮歌練習、七時ヨリ自習、九時礼拝、后床ニ就ク。

所感

神様ノ御広前デ勅語ヲ捧読スルハ生レテ茲ニ今日初メテバアル。真善美心統一シテ高天原ノ感ジデアツタ。実ニ実ニ筆ニモ言葉ニモ尽シ得ズ。所長先生廿八才ノ時、御父上様ヲ御失ヒ給ヒシ御体験談、看病ヨリ葬式、全般他人貸借上、父上ノ責任保証ニ付四十九日目ヨリ財産整理着手万事ガ総テ責任感念ノ烈盛、又財産家ノ息子ハ自立独立ノ精神無ク没落ニ落ち入ル事ノ講義ハ、実ニ吾等将来ノ杖トスベキ、実ニ実ニ大切ナ杖デアル。

習字ノ時舟越先生ヨリ武訓鬼一法眼ヲ講義致サレタ。総テ鬼一法眼ノ武訓ハ武士ト言ハズ百姓ト言ハズ商工家ト言ハズ、女ト言ハズ、学生ト言ハズ。実ニ実ニ我が日本人ノ魂デアルト感ジタ。

復待チニ待チタ剣道師範石山先生御指導ニ預リ、全員元氣ヲ振ツテ指導ヲ受ク。所長先生ヨリ講義ニ熱心ハ良イ、執着ハ悪イト聴イタレド、事務室当番九年目、忘レテ色々執着シテ講堂ニ火ヲ待チテ行カズ、鈴木君ヨリ注意サレタ。以后ノ当番ニハ十分任務ヲ尽ス覚悟ナリ。実ニ済ミマセン。

所長先生午前十時ヨリ、終リ。

北村山郡長瀨ニ思想善導ニ関スル講演ニ出張遊バレタリ。

感―結城君事務室内ヲ四回モフキ掃除シテ戴キ、有難ク感謝スル。今後モ此ノ心掛ケ大切ナリ。

三月四日 水 当番 伊藤正憲

朝五時起床禊ヲヤリ皇国運動ヲスル。礼拝シテ食事スル。今日ノ学科ハ  
一校時 金井村研究 五十嵐先生

二校時 農学大意 高橋先生

三校時 米穀研究 駒谷先生

四校時 大掃除ヲヤル

今日所長先生ガ講演ニ行ク。今日ハ大掃除ガアツ〔夕〕為非常ニキレイニナツタ。

所感

神前ニテ勅語ヲ読ンダ事ハ十六期生ニナツテヨリ始メテヤツテノデ、十分ニ自重サレタ。高橋先生ノ学科ハ今日ヨリ土壤学ニナツタ。又外出ノ時事務室ノ札ヲカヘサナイデ行ク人ガ大分オルヤウニ見エタ。

来訪者、ハギノ第一会〔回〕移民ノ人。十五期生ノ生徒二人クル。以上

三月五日（木） 晴 当番 押野登

朝五時起床ス。襖、各室掃除、乙班武道、甲班掃除、体操、礼拝、食事順予〔序〕にす。

今日の科目

第一校時は皇国精神 所長先生

第二校時は農学大意 高橋先生

第三校時は珠算 斉藤先生

第四校時は教練 赤間先生

食事

化学、高橋先生の講話九時まで。礼拝す、九時。就床す。

所感

若い青年の一の努力は役目の五倍に同額と感じ、若い青年時代に真剣、真面目、忍耐等持つて事に向ふた時には何等の大業は出来ぬ事はないと思つた。古人曰ク「鉄は暖い時にきたえなければならん」と言。私も同様と思つた。鉄はさめるては即ち老年に成ては幾等磨ひても清然には磨からぬ。青年期修養時節、後年は実力（即ち労力）の表有期と成つてゐると思ふ。

又働くべき此の人間生活である人格完成、即ち自治団体生活を有一〔唯一？〕の目的としての修養、即ち人間として至上至高の幸福を得る為の人間生活である。私等自重して努力奮闘しなければならんと深感す……を若筆す。

三月六日 金曜 晴 当番 高橋岩蔵

朝四時、打つと共に太鼓を乱打、皆が慌て、まだ四時だと騒ぐ。そこで気を付けて時計を見ると正しく四時だ。朝から実に恐縮に耐へぬ事をしました。改ためて五時の起床、各自室の掃除を、甲班武道乙班掃除、皇国運動は八田君指揮、大出来だった。第一講次〔校時〕を高橋先生から土壤の成分、有機質の分解の程度に就いて講義あり。次に正午迄教練、午後一時二十分より四時半まで午前と同じく中学校の庭で教練を實施しました。天気晴朗にして風なく近来稀な気持ち良い日だったので実に愉快だった。実施科目は密集教練、目測法、稲作研究は佐藤先生がお出になられなかったので休講、五時から一時間柔剣道の稽古をしました。赤間先生が殖民志望の人を連れて来られました。朝、木村パンヤからの電話の返事、書留に捺印、一緒になって私をアハてさせました。それに電話を未だ使った事もない人間だったので、人一倍あはてました。午後七時より自修、九時礼拝、就寝九時半。

所感

「案ずるより生むは易し」昔の人はうまい事を言つたもんだ。事務室当番は私より見れば相当の難関に見えました。他の当番に比すれば事務室当番は確に精神的方面は多労を要す様です。事務室当番だと言つて事務室に据り込んだもの「もの」何をやればよいのか、薩張り不分〔わからず〕、聊、失神の体だった。何くれとなく教へて下さる方々へ心から感謝しました。無論心中で、難中の難物、ほら貝吹きを晩になつてやつと吹ける様になりました。前後を転書しますが朝の勅語奉読、弥栄三唱の時の心持ちは実にさやけき手伸しき極でした。自治寮生活を意義あらしめると共にあの時の気分を日々の行為に延長したいと考へました。一日の務をおへれば鳴噫、天晴れ、あな面白、あな手伸し、あなさやけ、おけ、凡ては明日に託していこはん矣（ア）。来訪者、西置賜西根の青年、殖民希望者一人と、大江卓見君之巖父お見えになりました。終り。

三月七日 土曜 雨 当番 布施権三郎

朝五時起床ス、禊、各室掃除乙班武道甲班掃除、体操礼拝食事ノ順序ニスル。

今日の科目

第一校時は農学大意、高橋先生

第二校時は教練、赤間先生

第三校時は 〃 赤間先生

第四校時は 〃 赤間先生

食事、自修ワナス、随意研究。礼拝は九時、就床す。

所感

神前ニテ勅語ヲ読ミタ事ハ入所ステカラ私ハ始メテデ、充分ニ自重サレタ、又午后零時式分ニハ吾等九千万同胞ノ待チニ待ツテイタ御喜ノ日ハ、未タ皇后陛下ハ恙ナク内親王殿下ヲ御誕生アラセラレタト、言フモ畏コシ竹ノ園生ノ御弥栄ヲ見テハ、日本国民ハ哀〔衷〕心皇室の弥栄ヲ腹一杯ニ呼び奉リタイ衝動全身ニ漲ツテ来ルヲ何ウスルコトモ出来得ナイ。天皇陛下弥栄―、弥栄―、午后五時ヨリ部屋替ガアツタ。今迄一緒ニ同ジ部屋ニ居タ同寮ヲ離レテ別ノ部屋ニ行クノハ何トナク物足ライ感じテアリマシタ。

〔以下、赤ペンで記載〕注、日誌ヲ記ス場合ハ前ノ当番ノ終ノ行ヨリ一行アケテ記スベキコト。平仮名ト片仮名ヲ混合セヌ事。又皇室ニ対スル記事ハ一行或ヒハ少シ離レテ欠ヲ記入、亦平仮名ヲ用ヒテ特ニ叮嚀ニ書ク事。

〔以下、鉛筆で記載〕右ニ注意シナキ場合ハ不敬者トナルベシ。

三月八日 日曜日 曇 当番 高橋榮資

朝六時起床、昨日室換へがあつたので目を覚してみたら変な気持がした。六時拾五分前に起床して禊を終へて着代〔替〕へをしたら丁度六時になんなんと居つた。今日は日曜なんで武道もなく全員で掃除をやつた。七時半頃に礼拝して朝食をした。気候も暖かく春らしくなつて来たものだから、大分外出者も多い。午后九時に礼拝して床に着〔就〕いた。

来訪者、第八期修了生大塚淳二兄

礼拝に参る時には引き締まつた気持で参る様との船越先生よりの御注意があつた。

所感

第二回目 of 当番の事として聊か心持が落ちついて居る様な気がする。淡い眼から覚めると朝日東方の山上に顔を出さんとして居つた。朝のすがすがしい気持で禊に参り着変へて棒の先まで全精神を込めて太鼓を打ち鳴したのは実に気持のよいものでした。寒い薄暗い蟄居生活からのがれてのどかな春の訪づれを聞く様になつた為か外出者の数も中々増した様に思はれる。午後二時に約三十名近くの人数でした。ぼかぼかの日和



はどんなにしても人の心を落ちつける事は出来ないものか、浮れ出す人心の影には危険な落穴がある事に気をつけねばならぬ。吾等は若き青年だ。愉快に元気に遊ぶ反面にしつかり心をおちつけ反省を忘れては駄目だ。勉強するも可、遊ぶも可。唯専門的になつては駄目だ。機械になつては人間の価値が消えてしまふ事になる。我等は此所に呉々も気を致さねばならぬ。以上

三月九日 月曜 曇 当番 石井政春

昨日日曜にてつかれをいやした為か、四時頃より禊に行く人の足音が夢の様に聞える。今日は当番なのでおそくなつてはならじと飛起きて禊をする。其の気持の良い事、此の頃は風を引いて禊をやらぬので其感も格別だった。それより各室掃除、甲班武道乙班掃除、皇国運動、礼拝して食事をす。

第一校時 皇国精神と農業 所長先生

第二校時 赤間先生見えない為、農学大意 高橋先生

第三校時 安斉先生遅れた為 二時四十分より初め 地質学講話 安斉先生

第四校時 赤間先生見えず自由、柔剣道やりたい人やる。

所感

初めての当番なので少なからず不安だった。ストーブはさつぱり勝手がわからず須藤君より焚き付けて貰ひ、有難度う御座居ました。それより事務室当番として座はり込んでは見たものゝ、さて何をすれば良いのかさつぱりわからず困りましたが、助手より色々御指導を受け、一日難無く終へる事が出来ました。厚く御礼申上げます。長岡君午後三時半頃帰りました。雪の深い大高根に行つてさぞ難儀だった事でせう。御察し致します。

一日の当番中最も緊張且つ厳肅なのは朝の礼拝で、君力代、勅語捧読、弥栄三唱の時はさながら神人合体の境地になる。一年中此の心もて生活すべ「すべき」である。

晴 三月十日 火曜日 当番 小関久雄

朝五時起床、禊ヲ行ヒ、各自室内掃除甲班掃除乙班武道、六時五十分ニ終リ、直チニ、皇国運動ヲ行ヒ七時半ニ終リ直チニ礼拝、朝食七時四十分、八時ヨリ所長先生ノ学科デスガ、所長先生ガ用ガアルノデ、一校時ハ船越先生ノ習字、二校時郷土史、三校時所長先生ノ皇国精神ト農業、四時ニ終リ各自自修、一班、三班、校庭ノ雪割り、夕食

五時六時ヨリ旧県会議事堂デ陸軍記念日デアルノデ、活動写真有リ。生徒一同見ニ行キ、九時半ニ帰校、礼拝シテ十時ニ床ニ就ク。

所感

二度目ノ当番デスカラ最初ノ時ノ様ニビクビクセジニスンダガ、朝ハ四時半ニ起キ、襖ヲ行ヒ、五時ニ成ルノヲ待ツテ太鼓ヲ鳴ラス。勅語奉読ニシテモ、自カラ心ガ清クシテ氣持ガ良カツタ。又自分ガ真ニ物事ヲスレバ氣持ノ良イ事ガ解ツタ。以上

晴 三月拾壹日 水曜日 事務当番 金澤留吉

第一校時 五十嵐先生の全村研究

第二校時 高橋先生の制法〔法制〕農学大意

第三校時 駒谷先生の米穀研究

第四校時 思いもかけぬ石山先生の剣道

かような自治寮生活も最早五拾何日となつた。實際月日の過行くは水の流るよりも速なり。我吾五拾何日を繰返したとて、亦く驚愕せざるを得ん。そこで愚劣の金澤が煩悶を々こした。嗚呼、馬鹿だ馬鹿だと強い胸板を割たような心の奥底から叫んだ。何で有りませう。事々物々の修養である。書〔諸〕先生が教ゆる□学科が耳が悪いのか頭が悪いのか記憶力がたりないのかと、一ト苦しみをして居ります。自分がこれ柄弥栄主義を的いとして精進追進したいと思つておる。以上

三月十二日 木曜日 曇 事務室当番 佐藤省吾

甲班掃除乙班武道、皇国運動、礼拝は何時もの型の如く同じ。

一校時 皇国精神と農業

二校時 農学大意

三校時 珠算

四校時 教練の時間たるも赤間教官殿御出ならない為、昨日剣道で止めて居た大掃除を行ふ。

自然は春に迫られて寮庭の雪も大部消えて来た。大掃除の後は雪消に一同汗を流す。夕食の三四銭程の者は襖の後の如き愉快さと満促〔足〕を与へた。

三月十三日 曇 金曜日 当番 渡辺茂

今朝五時に起床し禊を致し、甲班武道乙班掃除致し、午前七時より道場に於て皇国運動し、其後講堂にて礼拝し朝御飯に致しました。第一校授は高橋先生の農学大意、第二三校授は佐藤先生の稲作、第四校授は柔剣道、午後七時より自習を行ひ九時に礼拝し後は寝に就く。

所感

今朝五時に起床し禊をやり、僕は第二回の事務室当番に当り、禊をやりて身を清々にして事務室当番にとりかゝりました。心持が落ちき、朝の太鼓を打ち鳴したのは実に気持がよかつた。此の有意義なる一日を愉快に暮しました。来訪者、第十五期生、相田。

三月十四日 土曜日 晴 当番 武田正

朝五時起床、禊、各室掃除、乙班武道甲班掃除、日本体操（当番者結城傳治君）礼拝、一校時農学大意、九時半迄、十時より柔道大会○時半迄直ちに師範学校へ君力代、及び日本青年の歌練習、午后三時半帰る。来訪者鈴木練太郎氏。

所感

第一回目の事務室当番よりはいくらか気も安らかに出来たかと思はれたが、まだ行ふべき事も気が付かず、又手の出す処もわからなかつた。唯礼拝の時弥栄の三唱高々と声げた時、合図の貝の鳴り響きは何とも云へないおごそかな感じがした。

三月十五日 日曜日 晴 当番 奥山貞夫

本日は日曜日で朝六時起床でた。起床三十分前に起き天晴れ禊をし、やがて事務室に来て当番のスタートを切つた。六時に起床の合図をして掃除をして、六時半より全員掃除をして、七時十分より皇国運動を初め行進して寮歌を合唱して、今日は日曜のせいか皆んな元気でした。八時に終りて礼拝して朝食事、午前十一時半より本所修了生原田君の神前結婚式、十二時に終りて昼食をして事務室にて見たら外出者二二名有り。五時十分に夕食をした。七時より自習、九時に礼拝、九時半に床に付いた。

所感

本日は第二回目の当番でした。第一回よりは大分なれて何事も無く一日を送りまして何よりでした。神前にて勅語を捧読する時少し落付いた様な心持した。殊に原田君の結婚式の時は皆んな落ち付いて本当に気分が良かった。弥栄三唱の時は言ふに言はれ

ぬ心持で有った。外出の際に人の分の名前を返している人あり。実に悪いと思ふ。第三回目の当番を心に納めて床に付いた。

来訪者、原田十郎君の結婚に付て原田君外七名来所、本所第五期生押野君

三月十六日 月曜日 晴 柏倉正志

寝坊の僕は五時の起床時間に合図をするのは六ヶ敷かた。但し五時迄目を醒ますこと二回、三回目に合図をす。室掃除を参十分で終りストーブと友達となる。

全員の甲班は武道乙班掃除す。武道班は参拾分位永く行ふ。通常の朝行事を行ふ。日本体操の時、全員やまとばたらきに關した宿題を所長先生よりうく。時間に遅れて八時過ぎ朝食をす。九時頃より学科初まる。

第一校時 農国精神と農業

第二校時 教練（軍事講話）

第三校時 地質講話

第四校時 教練（道場に於て）

夕食六時にすまして七時半より高橋先生の課外講義（科学）有り。坂野、樋口、二大兄来所す。

九時礼拝、就床……消灯。

所感、寝気があるのも心の持つ様一つなり。今朝つくづく反省した。安齊先生の話聞き研究心の行きとゞいて居る事に驚いた。寮生活も半分以上過した。ベストをつくのも今少しなり。以上

三月十七日 火曜日 晴 事務当番 菅原光胤

〔このページの上部欄外に「此れは菅原君の字にあらず」と記してある〕

起床五時甲班武道乙班掃除をす。其の后皇国運動をす。礼拝して朝食す。

一校時 皇国精神ト農業 所長先生

二校時 郷土史 五十嵐先生

三校時 習字 船越先生

四校時 剣道の積でしたが石山先生都合悪く水曜日に来るとの事で、明日の大掃除す。

其の后食事をして風呂に入つて七時より自習をす。九時礼拝をして就床九時半消灯。

所感

今度は二度目で気持も落ち着いて是なら良く出来ると期待して静に勅語に向つた。それに自分を自分が裏切つて仕舞つた。勅語を讀違とは何たる事で、残念涙流て止るを知らず。あゝ俺は自分を恨むのだ。次の当番迄恨を忘れる事は出来まい。今日も一日不愉快に暮した。明日も続くのか。

三月十八日 水曜日 朝雨後晴 当番 森谷権之助

朝五時起床シ五時半ヨリ甲班武道乙班掃除ス。七時ヨリ皇国運動ヲシ礼拝シテ朝食ヲスマシタ。今日ノ学科ハ八時半ヨリ十時マデ農学大意高橋先生。午前十時ヨリ十二時マデ農学大意高橋先生、十二時ニ中食。午後一時ヨリ四時マデ米穀研究、駒谷先生、四時ヨリ五時マデ。剣道石山先生午後五時半夕食、七時ヨリ自習、九時礼拝シ、寝ニ就ク。

所感、自分トシテ感ズル点ハ助手様ノ御世話ニナルコト、又先生ノ御世話ニナル事ガ一番感ジマス。厚ク厚ク御礼申上マス。又今日当番ニ際シ電話ノ話方ガワカラナイノデ、船越先生カラ御注意ヲウケタ事ニ御礼申上マス。今後ハ注意シテ返話ヲシマス。本当二十八日ヲ愉快ニ暮シタ事ヲ感謝シマス。以上

三月十九日 木曜日 晴 菅野榮五郎

朝五時起床、五時半より甲班掃除乙班武道、七時に武道終り皇国運動。礼拝致して朝食。

一校時 八時―十時 金井村研究 五十嵐先生

二校時 十時―十二時 教練 赤間大尉

昼食の時は十二時二十分食事終へるとすぐ教練の仕度して聯隊内にて行なはるゝ鈴川村並に堀田村の青年訓練生の教練を見学し、帰校した時は四時四十分であつた。帰校後各自自由の事を高橋先生より云ひ渡されました。七時より九時迄自修、九時に礼拝して九時半消灯。

所感

朝事務室の掃除終へストーブの辺に腰を掛けて居ると、須藤君が、なんだ菅野君顔が黒いぞと言はれました。僕は何も知らず平気で居つたのです。僕は顔を洗ひながら其こだと思つた。自分の短所は人に直してもらい、人の長所は自分が取りて修養（精神的方面亦外面的方）しなければならぬと痛感した。亦一つは所長先生より、君、手紙

の書方知つて居るかと言はれた時は朝の禊よりも一層ひやりとしまして、唯だまつて居るより仕方ありませんでした（僕は手紙の書方はよく知らないんです）。教練見学に行つて感じた所は、元氣よく其の号令にきちんきちんと行ふのは学ぶべき所と思はれた。雪解けしてまだ湿り地に兵隊達は勇ましく教練を行つて居ります。其れが亦何んとも言へぬ晴々とした心持が致しました。今日も先生達や助手さん達の御蔭を以て無事に終つた事は有難く御礼申上ます。

三月廿日 金曜日 雲雨 黒沼四郎太 事務室当番代理 金澤留吉

第一校時 皇国精神と農業 所長先生

第二校時 農学大意 高橋先生

第三校時 教練 赤間先生

第四校時 教練 赤間先生

所感

朝はいつもと同じ五時に起き床を離れ、禊をなした。後ち甲班武道乙班掃除に二別となり潔ぎ良く各々の分担に応じて熱心に勤め、三月廿日の朝仕事が終了しました。七時頃よりやまとはたらきが始り。自分は熱心に追進追進の決心を以て無事終了しました。

朝食後いつもとちがひ第一校時二三四校時。前にある通り尾張た。

本日は黒沼四郎君の事務室当番なりしも、都合有りて午後の三時より家に帰られた。参時より茂木君より頼まれて愚な金澤が引受けました。引受た金澤が熱心に勤めました。黒沼君の代理金澤。以上

〔二十一日と順序が逆になっている〕

三月廿二日 日曜日 清〔晴〕 神林武男

午前六時起床であつたが、僕は当番なので五時半に起床して禊場に行き禊を致し晴々とした気分でのスタートを切つた。六時半で事務室の掃除に取りかゝて七時半の時皇国運動始め八時二十分の時終へる。八時半より礼拝勅語捧読弥栄三唱致して礼拝終へて事務室に入ると船越先生より勅語の読方を教へられ、僕も大に感じる所なり。礼拝終へるとすぐ朝食、朝食後は各自見学自修、十二時昼食、一時より鈴川養鶏場に見学、五時半晩食、六時から九時まで自修、九時より礼拝。

所感

今朝五時に起床し禊をやり僕は第二回の事務室当番に取かかりました。心持が落ちき「つき」朝の太鼓を打ち鳴らしたのは実に気持がよかた。此の有意義なる一日を愉快に暮しました。以上

三月廿一日 土 鈴木米蔵

今日は春季皇霊祭の佳日である。僕は栄誉ある今日の事務室当番だ。四時起床、禊に夕に夢心地から現の我に帰った。各部室からは心地よげな鼻声が漏れてくる。忍び足に考へた。高天原に舞ひ上つた夢でも見てゐるであらう同志達を覚すのは実に気の毒の様な気がする。併し掟は厳しい。だからと云つて盲従してゐる我等ではない。禊場で皆の清々した顔を見た時に僕は嬉しかつた。悪声を沁々自覚してゐる僕だ。こんな事ではならぬと思ひながらも日本働や行進の寮歌にも声の節約しオミツトした俺はこんな時非常に迷ふ。ベストを尽すべきか、然らば悪声に朝の大切な気分をみだす。麗かな日和となつた日章旗は所頭にはためく。所長先生初め何となく忙しそうだ。午前十一時から我等の先輩樋口善三郎兄の結婚式が講堂神前に於いても荘厳にあつばれなる気分で行れた。我等生徒一同も列式の栄を賜つた。平康の移民者の人々もそろそろ集つた。女人禁制の様な我校にも移民者達の若い奥様連で百花繚乱の賑ひである。我が敬愛の的である坂野兄も今日は一入晴々したお顔で見えられた。鈴木三郎兄も小林先生と嫁さんと三人で見えられた。何処までも容従たるには感服する。二時より平康移民者の出発式が盛大に挙行された。県からは学務部長さんや社会課の人々が見えられた。所長先生の訓辞將に懦夫をしてたゞしむの感あり。感慨無量!! 代表坂野兄の答辞農民らしき朴訥さの中にも信念に燃えた理想信仰の確立した生きた言葉であつた。弥栄三唱をして式は了り、所前で記念撮影をやり、赤飯を戴いて、三々五々停車場に向ふ。非常な見送りの人だ。感胸にせまりてプラツトホームに立つた。所長先生は流石に昂奮の顔付きで訓辞をしておられた。黒堅いエネルギーな汽関車は滑る様に止つた。聴て揺ぎ出した時我等は夢中で彼等に弥栄を叫んだ。かくして昭和六年度平康移民者廿四家族五四名が新天地の開発を目指し理想郷を建設せんと朗かに旅立たれた。代理小関君に感謝いたします。

三月廿三日 月 晴 夜小雨 齋藤好七

第一校時 皇国精神と農業 西垣先生

第二校時 教練 赤間先生

第三校時（午后）教練

○所長先生の話の中で皇国精神と云ふものは非常に意味が深くして、此の社会の万物は如何なる物（又は者）でも決して無駄なものはないと聴かせられて非常に感ずるところがありました。

○赤間先生の教練、聯隊生活も間近になつたので、僕等にとつては実に張り合があつて、何をやるにしても楽しい。今日は斥候偵察をやり后よりは部隊教練を行つた。

所感

愈々日増に暖気加はり床についても寝心地良いと見えて起床合図にも余り速がぬ様に  
なつた。

日中になるに従つて太陽の和魂に余り皆んなが恵まれ過ぎて、何となく気分がだれて来て、廊下を歩いてても室内はさわがしい。私は今日事務室当番が気に懸つて居た為に朝三時五十分に目をさました。「何」<sup>ナニ</sup>と思つて襦をやり晴々した気分です約一時間自修した。実によく頭に入る。私としては此の気分が日々精進して今夜練習した廿八回記念祭寮歌のリズムを体得し、庭先の若草の芽と共に今年一ヶ年中に充分に伸なければならぬと深く思つた。以上

三月廿四日 火 天気雲時々雪降ル 大沼三郎

第一校時 皇国精神 所長先生

第二校時 〃〃〃 〃〃〃

第三校時 習字 船越先生

第四校時 各室大掃除

所感

今日は二回目事務室当番、どしたものだと思ひました。朝は五時十分前に目をさまして襦してから太鼓を打とう思ひましてオクレ、須藤さんに打たれまして残念でした。それより掃除に取り掛りました。後参拝の合図をしまして参拝に出席しました。勅語を読みまして食事に取りつきまして、朝飯後僕にも手紙到着しました。手紙の内容を見て思はしくない心持にて一日送つた様で有ます。四時半頃より大掃除を行ふ。俺は掃除の代りに振替口座の電話番号書ましてポストに入て来ました。後皆様の働く時に僕はストブの火焚きしまして、皆様に済まないと思つてやつて居る中に



夕飯となりました。七時自修の合図しまして色々仕事は有りました。九時二十分前は事務室僕一人道場は船越先生の声時々耳に聞ゆるばかり、校外は真暗で門前の電灯はきみ悪く淋しそおに光をはなして居る。僕もなんだか淋しくなりました。たゞ時計がカタマーアツタとなりまして、一入淋しさを感じました。その中に礼拝の九時と云ふ事を示してくれた。僕もおどろきて法螺貝を吹く。貝を持吹終りたる時に何処からともなく焼イモ売のふえの音がして居た。尚々淋しかった。こうした時は一はだ身分をどうも云えないのである。以上

三月二十五日 晴 当番 伊藤金治

起床五時ニテ禊ヲシテ甲班ハ武道乙班ハ掃除シテ皇国運動ヲシテ礼拝シ食事ヲ致シ

一校時 農学大意 高橋先生

二校時 全

三校時 米穀研究 駒谷先生

四校時 剣道 石山先生

茨〔萩?〕野移住の人々も我等と共に同じ学科を受けたり。来客三人。

三月二十六日 晴 当番 押野登

記事一、朝五時起床ス。禊各室掃除乙班武道甲班掃除す。日本体操、礼拝、食事ス。

第一校時目 農業経営 高橋先生講義

第二校時目 農業経営 高橋先生講義

第三校時目 珠算

第四校時目 武道 船越先生

食後寮歌練習ス。後自修ス。

所感

船越先生のお話を拝聴して応用又は利用と言ふ事を深く感じました。何事も皆唯教へられたまゝ又聞いたまゝ無意義に置なり聞なりしてはその効果が無い。何事も聞いたならば聞いただけ万事に利用するなり応用するなりして初めて効果と言ふ事が出来て来ると感じました。完

三月二十七日 晴 当番 布施権三郎

記事一、朝五時起床ス。各室掃除、甲班武道乙班掃除す。日本体操、礼拝、食事ス。

第一校時目 農学大意 高橋先生

第二校時目 軍事講話 赤間先生

第三校時目 教練 赤間先生

第四校時目 教練 赤間先生

食後寮歌練習ス。後自修ス。午後九時に礼拝就床す。

秋田県沼楯農学校長、外教員一名、二、三日滞留

三月二十八日 午前晴後雲 土曜日 当番 前田忠四郎

朝は五時に起床して合図の大「太」鼓を打出し襖をして、五時半より乙班武道甲班掃除をしました。七時に終つて七時二十分より皇国運動をして七「時」四十分に終りそれより礼拝をして七時四十五分に朝食を致しました。

第一校時 九時より十一迄 農学大意 高橋先生

第二校時 十一時十分より十二時迄 軍事講話 赤間先生

昼食自治講習所庭にて致し、食事が終るとすぐ射的場に向つて自治寮を出発して伝令のをして前進致して目的地到着午後一時半、それより軍事教練をして居る時、雲りて午后三時に当地を發して自治寮に到着、同三時半に着致しました。六時半に夕食致し九時に礼拝をして九時半に消灯致しました。

所感

僕は第二回目の当番に当りよほど前回よりも気も落付きました。亦午后よりの赤間先生より教練を教り居りし時に訓示をされました。一つは教練とは行進のやうな所謂動作などではなく精神的であると教りました。それに僕は深く感じた次第であります。此処に於て僕は射撃場よりの「かけ足」に落伍したことは情なくで、吾は又意志が固まつて居らん事に深く深く感じました。以上

三月二十九日 日曜 晴 当番 高橋岩蔵

記事、前回の様な失策をしない様に五時打つと間もなく起きて襖をし五時半頃事務室に來り電灯をつけ掃除して、今度六時十分前から時計とにらめっこをして、六時うつや否や朝の大鼓を打つ。皇国運動は須藤さんがリードされた。今日は休みなので宝沢に緬羊見学に行く。九時半出發して一時間にして目的地に到り、相田氏初め其他飼養

者の羊を見せて頂いた。指導役の横山氏からは色々説明をして戴き有難かつた。昼過ぎ宝沢を辞し唐松観音に登る、断崖で昼食を取る。此処で秋田県の先生と別れ、途中唐松皋木温室を見学し盃山に登つて帰る。晩食事午後五時十分前自習七時より。礼拝九時、就床九時半。

来訪者、佐藤圭介、重岡菊池の両先生帰られた。

所感

春光麗かな春の日に山紫水明の地に遊び得たのは実に嬉しかった。相田氏の家訓「何時までもあると思ふな親と金」「ないと思ふな塵と借金でなくて、ない様であるのは塵と借金」と言ふ事は私を大いに反省させました。いづれの方面でも良い成績を上げる迄は外に見えぬ真心の□があるものです。

私□は単に形式的物々を学ぶ前に精神的の何物かをつかむ事をわすれてはならぬ。私共は此の点を考へて修養しなければならぬ。――了――

三月卅日（月）晴 当番 結城傳治

朝五時起床禊、五時半ヨリ甲班武道乙班掃除、七時ヨリ全員日本体操、礼拝朝食。

第一校時 皇国精神 所長先生

第二校時 軍事教練 赤間先生

第三校時 地質学 安齋先生

第四校時 軍事教練 赤間先生

（銃剣術）夕食ハ所長先生以下諸先生ト会食。午后九時礼拝。

所感

朝門前ヲ何知ラズボンヤリ掃除ヲ成シ居ルト、過日以来長野県ニ御講演ニ御出張セラレシ所長先生ハ突然東ノ方カラ御帰り遊バサレ、ニコヤカニ「今日日本体操唯今帰タ」ト。御挨拶実ニ嬉シカツタ。高天ヶ原ノ気分デ礼拝ニ参リ、勅語捧読、礼拝ハ何時モ気分ガ精々致スガ、今日ハ事ノ外高天原ノ感ガ深イカツタ。

第一校時三貴神ノ御性格、須佐之男神ノ舞登リシテ安ノ河原ニ於ケル御対面談。詮釈中得意ニ対シテ第十一期生ノ某君ト某君（義兄弟）トノ皇国精神ノ反省又御土産話、リダ運動ニ関スル講義ハ実ニ肝ニ命ジ魂ニ命ジタ。

神ハ自己ニアリ、宇宙モ高天原モ皆自己ニアリ、大イニ自己ノ性質ニ反省シ高天原ノ理想信仰ニ進ム覚悟ナリ。

赤間先生ノ教練時間、工業学校庭ニ於テ手旗ノ文字ノ組方少シモ出来ズ実ニ氣ノ毒デアツタ。今日始メテ、卅才以上ニナルト記憶力ノ無クナツタ事ヲ感ジタ。然シ弥栄ダ。奮闘シテ人並ニ文字組方出来得ル迄ニ勉メル覚悟ナリ。

安齋先生ヨリ宇宙ト太陽系、地球ノ成立ニ関シ、カントノ星雲説。ニウトンノ学説ヲプラスノ星雲説等ノ御講義ニ預リ、今迄ハ地球ガ廿四時間ニ一回転スルト聞キ居ルガ、信ズルコトガ出来無カツタ。今日始メテ回転ヲ信ズルコトガ出来、実ニ愉快デアツタ。自治講習所ノ修業ハ、一精神訓練、一健康訓練、一智育訓練等ニ大イニ勉メ自然現象ヲ哲学的ニ科学的ニ認識スベシト御教ヘニナラレタ。又今日ノ経度及ビ緯度ヲ忘レズ大高根農場ニ於テ実行シ、磁石ニ依ラズ正シキ方向ヲ見レト御教訓遊バサレ、自治療生活中ニ於ケル地質ニ関スル講義ハ、大略今日以テ終ルト御暇致サレタ。博学ニシテ熱烈ナル先生ノ御教訓ヲ血トナシ肉トナシ骨トナシ、今后ノ修養研究ニ進ム覚悟デアリマス。

来訪者 吉田周助殿

三月三十一日（火）晴 当番 伊藤安男

午前五時起床し事務室の掃除した。乙班は武道で甲班は所内の掃除であつた。武道終りし後大和働、寮歌で終りて礼拝、弥栄三唱して朝食を戴いた。八時三十分皇国精神で何時聞いても肝に魂にも銘ずる事の多い所長先生の御話。十時十分より郷土史、五十嵐先生、今日は先生の都合上十一時に帰村せられた。昼食を戴き午后一時より二時迄体格検査、二時二十分より三時三十分迄習字船越先生、四時より所内外の大掃除、六時十分夕食、七時より茶話会、十時礼拝消灯。

所感

天晴れあな面白、あな伸し、あなさやけおけ、今朝は突然の事務室当番で、掃除などは大部分は週番の人達にして貰ひ実に済みませんでした。未熟なる私、神前で勅語を奉読しましたのは我が身に余る光栄とする次第であります。何が何と言つても、これ程精神の慎しむ事はない、意義壮〔莊〕厳であつた。入所以来今日迄反省すれば不束なる点が多かつたので実に面目ない次第であります。それで所長先生の御話して下さる様に、私の短所を投棄でないで善に導びいて貰ひたいのであります。なほ私も出来得る限り追進に追進を重ねて奮闘努力しますから今後宜しく御指導を願ひ上げます。

四月一日 水曜日 雨 当番者 澁谷吉郎

昨日茶話会ニテ消灯ガ十時半、為メニ午前六時起床ナリ。又僕ハ午前五時半起床ス。事務室及ビ所長室ヲ掃除ス。起床六時ノ為メニ武道ヲ取止ム。六時半ヨリ甲班乙班共ニ掃除ヲ行フ。七時ヨリ全員日本体操其ノ終了後礼拝七時半朝食ス。

第一校時 金井村研究 五十嵐先生

第二校時 農学大意 高橋先生

第三校時 米穀研究 駒谷先生

第四校時 柔道及剣道 船越先生

午后九時礼拝

所感

日本体操ノ時所長先生ガたましづめノ意義及ビ其ノ動作ヲ具体的ニ話サル。吐キ出ス時ニ下腹ニ充分力ヲ入レタ時ニ、少シ呼吸ヲ漏ラシ、呼吸ヲ二十秒乃至三十秒止メルト仰セラレタ。又終了ノ時ニ寮歌ヲ歌フ時ノ、進メハいざ進ト同様ニ動作セヨト注意アリタ。一步一步目的ニ向ツテ進ンデ行く精神トナル。第二校時ノ農学大意ハ科外ニ追進ニ付イテノ注意アリ。其ノ大要ハ春ガ訪レタノデ、勢ヒ入所當時覚悟ガ忘レ精神ノ緊張ヲ欠キ、自治講習所生徒トシテアルマジキ行動スルモノガ見受ケラレル故ニ、自ラ反省スル三条件ヲ云ハレタ。第一禊、第二中心ニ結ブ者ヲ離レルモノ、第三自己内心ノ要求ナリ。次ニ三心ノ哲理、一発心、二決心、三相続心。発心ハ向上湧ク、決心ハ追進、第三ハ忍耐又継続心、是レヲ厳守スル決心ナリ。終ニ事務室当番ヲ完全ニ果シタコトヲ喜ブ。

四月二日 木曜日 雲り雨 朝倉忠右エ門

第一校時 皇国精神 所長先生

第二校時 農学大意 高橋先生

第三校時 珠算 齊藤先生

第四校時 軍事講話 赤間先生

今朝ハ五時ニ各自禊シ、五時半ヨリ甲班武道乙班掃除、七時ヨリ日本体操礼拝シ弥栄三唱、朝食ス。午后七時自習、九時礼拝寢床。

所感

自分は二回目事務室当番にあつたが、なんら所感としては感じる所はないのである。

亦今日一日の実修として誌した事が一年の修養に於ても同じ精神をとつていかなければ、一生の修養に於ても現はれるのである。

来訪者 二名 以上

四月三日 金曜日 天気晴 当番 清野清三郎

午前五時半起床して襖をし清々した気分にて今日のスタートを切る。六時満身の力をこめて起床合図の太鼓を打鳴らし、所長室事務室を掃除す。今日は神武天皇祭にて門に国旗を掲揚して敬意表し奉る。六時半より全員にて階上階下の掃除をすまし、次いで朝倉君のリーダーのもとに皇国運動及び寮歌行進を行ふ。終つて一同講堂神前にて礼拝す。今日は祭日なるに依り朝食後は学科無し。外出する寮友諸君多し。天気晴朗にして風だに無く、真に春日和なり。静かに麗かに硝子越しに照り輝く日光に浴しつゝ、所長先生より課せられたる宿題に答ふべくペンをとり、……しばし冥想、記憶を喚び起し、又思を凝らして書き綴りぬ。今日所長先生は西里村に講演に又高橋先生は家に帰られたり。午後六時夕食す。同九時礼拝、同半消灯す。

所感

今日は実に意気深き日なりき。即人皇〔日誌に合せて平出して記す〕

第一代神武天皇祭なり。昨夜所長先生「皇国精神の要点」と「自己将来の希望を語る」との二宿題を課せられたり。私は「闕字して記す」神武天皇の御創業と此宿題とを静かに併せ考へると或る通ずる点ありと思ひき。「闕字」天照大神の御神勅を奉じて国治総覧し理想実現の為高天ヶ原より中津国に降臨まします「闕字」瓊瓊杵尊は種々の困難を打開せられて吾国土を鎮治し給へり。尊の後裔にまします「闕字」神武天皇は、更に東夷を征討せられて大和国橿原に都を定め、即位の礼を行はせられ、人皇第一代の君とならせ給ふ。即天皇は茲に皇国統治の理想を実現し給ひぬ。其の間には幾多の障害と困難とに遭遇せられ給ひしも、それを突破して其理想を実現し給ひるなり。吾等の進まんとする前途も又多事、多難なるべし、幾多の山谷、濁流、又波浪あるべし。而し総べてに禊し、すべてを真善美たらしめ、追進に追進を重ね理想実現——弥栄の理想——目標に向つて専心努力奮闘せん。

来訪者、東置賜郡犬川村

四月四日 土曜日 晴 当番 渡邊力

朝五時ニ起床、禊ヲナシ五時半ヨリ甲班掃除乙班武道、七時ヨリ皇国運動礼拝ヲナシ終リテ朝食。

第一校時 皇国精神 所長先生

第二校時 教練 赤間先生

第三校時 教練 赤間先生

午後六時半夕食、午後九時礼拝、九時半消灯。

所感

前日ノ所長先生ノ皇国精神ノ要点ノ宿題ニハ全ク閉口シ頭ハ悩サレ、夜ノ礼拝ヨリ一ト安心ヲナシ安眠ヲシタ結果、事務室当番ハ何処ヘヤラ、朝ノ起床ハ寝過テシマツタ。朝ノスタートガ悪ケレバ其ノ日一日ハ全ク不愉快デス。

四月五日 日曜日 当番 和田栄造

午前六時起床、禊、全員掃除、皇国運動、礼拝ヲシ朝食。午前十時ヨリ南村山郡金井村研究、其ノ途中小林金吾先生ニ寄りシガ留守中デアツタ。マモナク金井村ニ行キ金井村役場デ昼食ヲシタ。三十分助役ヨリ質問シ、ソレヨリ渡辺校長自宅ニ行キ二毛作視察、全部見学終リ自治寮ニ帰ツタノハ四時ナリ。七時ヨリ自修、九時礼拝、無事就床。

四月六日 月曜日 雪 当番 樋口榮一

午前五時起床、禊、五時半より甲班武道、乙班掃除、七時より皇国運動、七時三十分礼拝。

第一校時 皇国精神と農業 所長先生

第二校時 軍事講話 赤間先生

第三校時 教練 全

所感

朝より雪がしとしとと降る。長閑なるべき春の節であるのに、こうなると滅入る様な気分になる。朝礼拝後の真面目な心になつておる時、一昨夜昨夜の両夜にわたつての委員会の報告があつた。皆緊張して聞いた様である。それで今日は何時日になく終日緊張してつゝがなく暮した事はお互ひに嬉しい事でありました。然しこうした不緊張の出来得るのは各自の分担、立場が確実に遂行して得ない。即ち自覚が無い事としみじみ感じました。今後は心を引きしめて最後の自治寮生活を意義あらしめたいと覚悟

しました。  
来訪者、なし。

四月七日 火曜日 雪 当番 吉田眞平

午前五時起床、禊、各室掃除、五時半より甲班掃除乙班武道、七時より皇国運動をする。七時四十分礼拝をし朝食を戴く。

自九時至十時 皇国精神ト農業 所長先生

自十時至十二時 郷土史 五十嵐先生

自一時至三時 習字 所長先生

自三時至五時 武道（柔剣道） 自由錬磨

所感

今日は朝よりしとと一日雪降りて聯隊に行く事を中止する。習字の時間には所長先生にて皇国精神の反省をするために神ながらの道を書く。今日の剣道の時間に石山先生が御休みに成り柔剣道をする。第二回目の事務室当番も終る。

来訪者、河原先生。以上

友部国民高等学校の河原先生来所せられたり。御夫婦にて我々の柔道にも御加入になられ生徒諸子に御指導して戴けり。育雛第二日目とて餌付等にて多忙。

四月八日 水曜日 晴 三浦貞雄

朝五時起床しました。直ちに禊をなし五時半の合図により乙班掃除甲班武道。僕の任務事務室当番に際し各すみずみ掃除をなしました。六時半皇国運動、当日吉田君リーターとなり生徒一同元気に寮歌を合唱しました。其れより神前に於て厳肅な礼拝を行ひ其後朝食に付きました。

第一校時 農学大意 高橋先生

第二校時 全

第三校時 軍隊教練 赤間先生

第四校時 全

感想

今日は随分寒かった。朝禊場の窓より望むと朗かな春の好シンズー（シーズン）に際し、外は一面に白雪化して居りました。僕等の心持は此の寒さに引きこまれ非常に緊



張して居る。此等緊張味は第二の自治寮生活に一步一步追進致して居ります。午前高橋先生が肥料学の件懇切に御講話下され、僕の最も痛感した肥料成分の□□NPK等の組織、植物の生育の要件、温度、養分空気（酸素）日光營養等、常識的に農場に於て活用種々研究なす可き需要なる事。日頃僕等が期待して居る軍隊生活は、午後より突然聯隊に行き最も緊張する軍隊生活の一端を翫味致し事出来ました事、誠に愉快なり。銃の使用法手入等詳細に御講話相成り、最後に速足行進をなし僕等の動作に非常に感激されました。教練終り午後五時頃一同無事帰所致しました。

四月九日（木曜日）晴 当番 佐藤哲夫

早起きしようと心懸けてはゐたが、目が覚めた時はもう五時廿分前、急いで禊、昨日迄の雪降りもからりと晴れて夜はほのぼのと明け初めて行く。何とも云へない清々とした気持、斯んな気持で一日を活して行きたい。掃除も比較的早く終へて少しの時間を利用して本を読んだ。所長先生がおいでなさるせいか少しかたくなるのには少なからず参つた。礼拝も形の如く為し直ぐ食事、それから八時に所庭に整列し聯隊に向ふ。八時半より四時迄赤間先生、中村高橋石垣上等兵助教として軍隊生活を行ふ。事務室当番として得る所が少なかつたのを遺憾に思ひます。尚週番の方の御手伝を受けたのは残念ですが、まことに有難く感謝致します。

四月十日 金曜日 晴 当番 安達弥之輔

午前五時起床、禊をやつて□□した気分で本日のスタートを切つた。五時半に思ふ存分太鼓を叩いて点呼の合図をなす。甲班武道乙班掃除をやる。七時半より日本体操を行ひて後朝の□□に至せり。八時十五分所出発、九時頃より中村高橋石垣助教□□に教練を行ふ。四時に教練終つてそれで銃掃除をやつて一同講習所へと歩を進めた。七時より自習、九時礼拝。

所感

春の光が影日向無く照し続け、まさに桜花咲誇らんとする下に剣を腰に銃を友として教練を行ふ嬉しさ。活気なる動作緊張をして命令通りに従ひ続ける。此緊張したる動作を我が自治寮に以て来て何時迄も続け度いものだ。互に反省をして居ると保ち続ける事と思ふ。そして自治寮生活の最後に意気〔意義〕有る様に□しませう。来訪者、なし

四月十一日 土曜日 曇 当番 安食喜一

午前五時二十五分起床襖をやる。昨日の軍隊生活のつかれがまだよくとれないせいか、ねむかった。五時起床の合図、五時半点呼の合図の太鼓をならした。甲班掃除乙班武道をやる。七時五分より日本体操をやり礼拝をやり食事を済ました。八時より軍隊生活のため兵営に行く。今日は午前中は射撃で午後から戦闘教練であった。午後四時頃兵営を出発してかへる。本日は明日の金井村行きのため八時半に礼拝をやる。

所感

朝の礼拝の時はまだ最初の為でもありませんが、ずいぶんうろたへた。声がよく思ふ通りになかった。此の次からはしつかりやれるだらう。射撃は最初としては皆よくあたる。教官殿よりほめられた。練兵場で戦闘教練をやった時は少し雨もふり寒かったが皆元気で一生懸命やった。

四月十二日 日曜日 曇後晴 当番 石井政春

今日は見学なので五時半起床、相にく外は銀世界である。六時より掃除、皇国運動礼拝、七時四十五分頃より金井村見学、午後七時過帰る。

所感

雪路をけつて金井村に行く。先づ江俣実行組合の試作田、暗渠排水を見、それより江俣信用購買販売利用組合、五十嵐先生の郷土史編纂〔纂〕状況、小学校、各団体の話、養鶏、果樹栽培、実行組合、蔬菜、促成栽培等、どれを見、どれを聞いても一つとして驚くものばかりで、我々の模範たらざるものは無かった。良くも之丈やったものだ。郷里に帰つてから及ばずながらも村を改善して行かねばならぬとの意を強くした。何処へ行つても心からの観〔歓〕待をされ、茶、茶菓子を出され、恐しゆくの至りでした。

四月十三日 月曜日 佐藤武雄

一夜の安き眠に、昨日の有意義に行つた金井村見学のつかれもけろりと忘れ、新生なる気持にて、襖の後に五時に起床の太鼓をうつ。夫々所定の事をなし、早目の朝食に最後の軍隊生活へと歩みました。大和働き、後所長先生の御訓示に我等一行の魂々に語り合つた事は云ふまでもない。八時半頃に営に着した後、我等の軍事教訓最後の歩

行をやり、熱心にやつたと思ふ。早や時間はながれて最後の営生活の幕は閉ざされ、而かして山形聯隊城南練兵場のカーバイトを見学し少々□□だ、皆一同元氣、壮快裏に無事夕食につく。而かして後自習時間もやりつかれもなく入浴の気分は実に慰安である。斯くして今日は安らかな眠に入るのです。

所感

自分としてはじめての兵營教練を受け甚大なる反省をさせられました。短期旅行にも加わりたいたいと思ふ事も数々あります。今日の入浴はおそかつたが実に愉快でした。以上。

四月十四日 火曜日 曇 遣水伊右エ門

今朝起床して見ると時計はもう四時四十分であつた。急いで禊をして太鼓を打鳴らし週番の人々と力を合せ所長室事務室を掃除しました。甲班は掃除乙班が武道を終へて朝飯を戴きました。第一校時には農村経営に対する所長先生のお話、十時より山形市香澄町教育会館を視察、午後〇時五十分本所到着、二時半より五十嵐先生の郷土史、四時終り、第四校時には第十六期生の終了記念のアルバムを作るので禊、炊事、図書室にて伊藤写真館が来て取つた。外は柔剣道、五時二十分終る。夜は餅を戴きました。

所感

今日の当番に於てふりかへつて見るに、いまだ卑劣な自分には手が届かない所を深く反省し自治寮生活も余す所数日に達しているので、農場に於て一層追進に追進を重ね立派なる態度を以て進もうと覚悟して居ります。以上。

四月十五日 晴 当番 武田立男

午前五時起床禊、五時半ヨリ全員所内掃除、六時ヨリ駆足、県社八幡神社社前ニテ皇国運動、礼拝七時帰所、駆足里程約二里（駆足ハ今年ニ入り今日ガ始テ有ツタガ全員元氣デアツタ）。七時朝食。

一校時（自八時至十時）皇国精神ト農業 所長

二校時（自十時至十二時）皇国精神ト農業 所長先生

三校時（自一時至三時）米穀研究 駒谷先生

四校時（自三時至五時）剣道（試合） 石山先生

七時ヨリ自修、九時礼拝、就床。以上

四月拾六日 晴 当番 佐藤賢三

朝五時起床襖、各室掃除、終ると直ちに駆足し天万〔満〕宮神前にて皇国運動礼拝をやり、帰りも前の通りの駆足にて、所前にてわかれして朝食をすまして、八時より皇国運動の写真取りで、九時より「並ヒ□□□」が行と行の間に書き込んだである」稲作研究佐藤先生拾貳時迄。貳時より午前中続き佐藤先生の稲作講義、四時二拾分頃終り。直ちに大掃除にうつる。室外便所階下階上事務室等、自分の掃除分担をすつかり終了して夕食とす。なんだか天の国にでも行つたやうに気晴々した。

所感としてはみだりに新聞を持出ぬ事。私は手が悪くて何にもわかりませんが、私よりも早く週番の安達君にすけられて、俺のもたらぬ坊ちゃんになる事は今後一生懸命に仕事にはげみます。以上

〔教員の手か〕ボツチャン気分を転廻して人生に意義あらしめよ。ボツチン育ちは大いによし。

四月十七日 雲 当番 石山正三

午前五時起床襖、五時半より全員掃除、六時より駆足、郷社諏訪神社社前にて皇国運動礼拝、七時帰所、駆足里程約一里半位であつた。

朝食七時十分、七時五拾分より農事試験場に見学に行く。最初は緑肥栽培の説明を聞く。大河原先生稲作栽培、特に苗代、佐藤先生桑樹栽培、果樹栽培の説明を長時間に聞く。昼食午後一時頃であつた。午後より蔬菜の促成栽培佐藤先生、土壌及肥料試験の講話終り、四時拾五分帰所す。夕食五時、七時自習、九時礼拝す。

所感

待に々たる二回目の当番も当りました。そうして自分の分担を全うせんとして取り掛りましたが、充分にはたさなかつたのは遺憾と思っております。三回の当番の時にはなほいつそう努力する感〔考〕えであります

四月十八日 土曜日 晴 伊藤金治

朝五時起床して直ちに襖をし五時半にて甲班武道乙班掃除となりて七時頃より皇国運動礼拝して朝食を戴く。

一校時 農学大意 高橋先生

二校時 珠算 齋藤先生  
 午后から煙草専売局見学

所感

朝起きて見ると朗かなる春の小雨が降つて居りました。今日は非常に寒く緊張して居りました。趣味のある自治生活も今や数日であり、我等農場生活も目前に近きて居り農場に行きては大いに自分の分担に向つて奮闘努力し勉め働きたいと思ひます。

来訪者、五名、以上

四月十九日 日曜 晴 当番 高橋岩蔵

起床午前六時、全員掃除六時四十分：五五分、皇国運動七時拾分—四〇分、礼拝四五分—八時マデ、朝食八時五分。自由見学散歩外出、正午小麦パン、食事。午后三時炊事初メ、六時25分図書館ノスキーニ関スル講演並ニ映画見物及ビ拝聴ノ為メニ出発、拾時帰寮、礼拝十時五分就寝、消灯十時三十分。

来訪者、江波院長奥山君の為に来所。午前七時萩野の先生高橋猪一氏帰郷さる。

所感 長くなる事をお許し下さい。

自治寮生活も今や終りに近ずいた。思へば一月二十一日に入所して自治講習所ちう大生命に帰一して以来九十日の生活は是れ緊張の一字につくる、男子志を立て、郷関を辞しや、其の名の如く自ら治める理想の寮に打ち集ひ、互ひに赤裸々に自己を曝け出し、魂と魂との磨きあひ、追進と追進の生活は実に皇国農民としてよりよき人生を送らんとする者の得難い貴重な体験であると共に、生涯忘れ得ぬ感激の思ひ出として残るであらふ。オギヤーと生れて二十年此の方此処九十日の生活程充実した意義ある生活は持たぬ。

恐らくは寮友の70%以上は僕と其の感を等しふしたであらふ。九十余日の生活の短きを憾むよりも自己の努力の足らざるを反省しなければならぬ。

今やかゝる意義ある生活も終りに近ずき、世はまさに今萌へ出でんとする春である。威張つても単なる自治寮生活は井の中の蛙たるを免れない。故に其の有終の美をおさむるが為め、将た又、農村を達観せんが為めに秋田の二大老農の事績の跡を訪ねて故翁の人格を偲び、修養の一助にもがなと所謂短期旅行を執行する訳である。旅費は九円より持たぬが正しいと信じてやると決心した事はやる、窮すれば通ず、當つて碎けるのが吾人の本望である。切角行くし、やるときまつた事を費用の少し位足りぬ様な

事で壁「辟」易してはならぬと思ふ。

斯くして少々家へ帰る。物質的に土産品の何物をも持たぬ自分は、青年らしい青年になつて自分自身を土産にしたい。講習所で眠りつゝありし大和魂の覚めたのを唯一つの土産にするが、郷党の期待に充たぬ事を慚ぶる。只家庭生活を事情々実の根の国人にならず、せめては自治寮生活の延長したいものである。そして来る可き高天原へ舞ひ上りは率先して決行し最もいとよき所にした。未だ見ぬ世界大高根へ夢魂は飛ぶ。麗かに晴れた今日の日、緑滴る千歳山又は盃山に遊べば恋も得るものを、向上せんとする者の時と言ふ事の貴きに、行くも叶はぬ春の日の若人の心の中ぞ誰か知る。戯れには遊ぶまじ、遊ぶも皆之修業の為めにでなければならぬ。今日出で行きし寮友の皆此の心ありて遊べる事を望む。世は春、陽光は麗か、若人の感激亦無量。

春をうたへる

千歳山 峯の常盤は みどりまし 弥栄へ行く 御代をことほぐ  
敷島の 大和男の子の 鋤執りて 山田うつらん 春は来にけり

弥栄

神前で 弥栄唱ふ たのしきは 我が身も神も 一つなるかな

奥山君入院す。以上

四月二十日 月曜日 当番 高橋榮資

午前五時起床、六時半まで甲班武道乙班掃除、午前八時より皇国精神と農業、約一時間。九時頃県庁の社会課長の自治制度についての講義が正午三十分ばかりまで、午後一時十分より安齊先生の地質学の臨地講義が馬見ヶ崎河原で御座いました。午後三時過ぎまで。帰りに鈴木鍊太郎先生の御宅に寄つて色々なものをみせて貰ひました。午後四時から五時まで自由、五時より寮歌練習があつて、午後七時より小林先生の農業栽培上の最も大事な点についての講義が十時半頃までありました。十時半礼拝して就寝す。

所感

自治寮生活も殆んど終へんとして居る今日此の頃、不順な気候もずいぶん暖かい天気になつて来た。それにつきものか知らんが春気分の旺悦もおさへ切れない位だ。兎もすると脱線しそうになり口だ。よくよく注意してより一層引き締めて意義ありし感激の自治寮生活を背景として農場の奮闘を待ちこがれて居る。吾等の高天原…大高根

の広原、今なほ白雪に抱かれて眠れる如くぢつと来るべき春を待つて居るであらう所、そこは自分にとつてはいまだに不知の地である。そんな事を考へて居るとなんだか愉快だ。以上

四月二十一日 火曜日 菅原光胤

五時起床す。甲班掃除乙班武道、六時半迄、七時食事。

一校時 皇国精神と農業 所長先生

二校時 郷土史 五十嵐先生

午后一時より県農会に講話を聞に行く。多多良先生、農家経済組織の複雑化の話、五時迄感ずる処大なり。亦心が引しまつて参りました。五時二十分より大掃除、六時食事、七時より自習、九時就床す。

所感

今三日で自治寮生活も終らんとして居す。俺の気持春気分には吸取られた気持を亦当番で呼もどして呉れた。当番は好時期であつたと今喜んで居ます。今回は三回目であるし皇国運動のリーダーにも立つたので余程腹も定り、なんの気持もなく終る事が出来ました。何事も行馴れて始めて上手にも成り亦良い成績も上げる事が出来るのだと一層深く感じました。農場に行つたら失敗する事も亦出来ない事もあるでせうか。この心で進んで行きたいと思つて居ます。

（雲）四月二十二日 水曜日 当番 小関久雄

朝五時起床禊ヲ行ヒ、各自室内掃除、五時半ヨリ甲組武道乙組掃除、七時二十分終リ。其レヨリ皇国運動七時半ニ終リ礼拝シ、朝食八時、九時ヨリ農学大意、十時二十分ヨリ（第二校時）県農会ノ多多良先生ノお話（第三校時）農学大意、四校時石山先生剣道、午後五時終リ、夕食六時半、七時ヨリ九時迄自修時間、九時十分礼拝シ、床ニ就ク。

所感、僕ハ第三回目ノ当番デスカラ、最初ノ当番ヨリハ落付イテイラレテ、大変良カツタガ、デモ当番ハ自分ニ責任ノアル事ヲ思ヘバ、自ズカラ早く目ガサメマス。又当番ニナツテ神前デ勅語奉読シタ時ハ、何一ツ雲リナク、心ガ清ラカニ成ツテ、終リシ後モ非常ニ気持ガ良ク明ルイ気分デ一日愉快ニスゴス事ガ出来マシタ。

四月廿三日 木曜日 晴天 当番 金澤留吉

朝四時半に起床して禊をなす。五時に太鼓をうつ。五時半より武道掃除二つに分担され従事した。朝食七時半頃、第一二校時共も所長先生の農村不況に対して青年の取るべき方針に就いて習ふ。自分に取っては通〔痛〕切に愉快に、又解釈は深長であつた。自分の生涯忘れる事の出来ないと自覚しました。昼食は一時近かつた。午后よりは学科なし。五時半頃諸先生が御参堂被下され、先生は安斉先生、佐藤先生、駒谷先生、五十嵐先生である。夕食六時頃諸先生と共に霊的天然をあいにして大高根農場で採たキビ餅を諸先生と共に喰べた心持、血潮湧き肉踊り弥栄なる愉快さを感じた。六時半より自治療生活終りの茶話会を開催し諸先生と共に出席した。そして愉快に生徒は自治療生活を顧みてと言ふ題目で所感を述べた。つぎに諸先生は一人ものならず、吾々に為になる講話を聞せ被下れ、我吾は非常に感ずるところがあつた。それから余興は二三始めて諸先生を寮歌を唄つて御送り致し先生方帰られた後も盛大に意義ある自治療生活の終りの茶話会であつた。私も臆病又意志薄弱で有りましたが、席上に出で唄を唄たと云ふ事は少し弥栄に成た要〔よう〕な心持がある。実習農場に行く事は出来ないことは、実に残念であります。家に働いて折りましたも、最進最終弥栄主義に努力奮闘致す決心である。以上

雲 四月二十四日 金曜日 当番 前田忠四郎

朝は六時に起床して禊をし起床合図の太鼓を打ち、六時半より甲班武道乙班掃除に分れて致し、武道は九時迄そして礼拝をして九時拾分に朝食、第一校時拾時より高橋先生の第二期生活の農場生活分担等に関してのお話、第二校時午后一時より三時迄所長先生の労働に関しての講義として今日の学科は終る。午後七時より九時迄自修、同九時に礼拝して九時半に消灯致し床に付きました。

所感

高橋先生の農場生活に関してのお話に感じました。自分は農場に行つたならば其の分担を真面目に実行して自発的に努力奮闘致す事であります。それから第二校時の労働で在ります。所長先生のお話、農民は天地自然と合体して、そして天の恵を受け農業を必要としたしむ。物事の最後の判断は活事実に在る。それから堅実なる人間には農業を必要とす。労働は人間を神聖にすると云ふ事、亦汗は即ち禊祓精神的方面は非常に重大なもので在ると云ふ事に深く感じました。以上



四月廿五日 は渋谷吉郎当番なるも、日誌記入して居らぬ。今日は加藤先生が来所され開所当時の思ひ出話を皇国精神と関連してお話し下された。旅行の準備等にて一生懸命に皆な活躍する。廿六日午前七時四十分の汽車にて秋田の石川翁、森川翁の遺墓を訪問せるなり。帰りは庄内地方の卒業生等を訪問して廿九日午後八時半の気車で帰所せり。折しも降る雨は何んとも云へぬ春雨でありき。自治寮生活本當にて終了せり。弥栄。

十二月十九日 土曜 晴 鈴木米蔵

帰宅して夏以来怠りぬし禊は可成こたへた。最後であらう事務室当番の朝は明けた。六時起床、全員掃除、日本働き、礼拝、日頃又事情情実世界にのみ生きて錆びた僕の魂は勅語捧読弥栄の全力の三唱と共に更生の喜びに満ちて来た。九時より午后四時迄教練の猛練習。酷寒の満洲整備の日本男子を思へば何の辛さだと思つた。

十二月二十日（日曜） 雪 黒沼四郎太

所生活も目の先四五日に迫つた。入所したばかりなのに再び世智辛い世の中に出なければならぬ。自分は切り抜けて行く事が出来るだらうか。情なく為つて来る。出来ないまでも毎日禊で緩む心を引緊め引緊め最善の努力を尽さうと決心してゐる。思ひ出せば之の一年の間は愚な事ばかりして続けて来、之も諸先生、諸兄等の御同情と鞭撻との賜物であつた。無事で居られたのは今此の紙上で深く感謝します。

六時起床、甲班武道乙班掃除、皇国運動礼拝、九時より昼迄教練、午后林、七時より九時迄学科、礼拝。是して一日は過ぎ去つた。以上

拾二月二十一日 月曜日 晴 樋口榮一

午前六時起床、七時半より甲班掃除乙班武道、八時半皇国運動、後礼拝、拾時より午後五時まで赤間先生の教練、午後七時半より九時まで学科。

所感

今朝眠つておる所を茂木君より事務室当番であるとの話にて驚いてとび起きた。とにかくまごついたものだから仕事があまくはかどらない。須藤君の御尽力に依つて出来得た事を深く感謝致します。

最後の思ひ出深い当番と思ふとなくなつかく、全力をつくしてやつたが、思ふ通りに出来なかつたのが残念の事です。

もお余す所も二三日の中に迫りました。せめて最後の教練の結果をうまくしたい。それは皆我々の一心同体と真面目の二つにあると思つております。終り

拾二月廿二日 火曜日 晴 金澤留吉

嗚呼最後であらう事務室当番の朝は明け、六時総員起床、六時半依り甲班武道乙班掃除、日本体操、礼拝。九時半頃依り高橋先生の学科有り。実際今日の高橋先生の講話は身に済みじみと身にしみ断腸の想ひと肺腑をうたれた。唯れも彼も同一の感慨を刻まれた事であらう。一時頃より四時迄教練の猛練習。寒々の満洲警備の在軍を想へば教練の猛練習は何の苦も思へない。后後七時から道場で所長先生の風俗習慣と神ながらな実修の学科九時迄。

来訪、田辺聯隊区司令官あり。以上、終り。

十二月二十三日 水曜 曇 高橋岩蔵

記事

午前六時起床、乙班武道甲班掃除

〃 九時より工業学校々庭に於て教練

査閲、査閲官は田辺聯隊区司令官殿。

十一時五十分より午后〇時三十分迄田辺大佐殿のお話を承る。

午後二時半より大掃除施行

〃 七時半より寛先生著「風俗習慣と神ながらの実習」の素読及び所長先生のお話拝聴。

寮内人員異動なし。

所感

本年一月中旬初めてお世話になつてより早くも一ヶ年の星は流れた。其の間感激に高鳴りし寮生活や勤労の汗を絞る農場生活又は最後の緊張せる長期旅行等々、思ひ起せば感慨実は無量、顧れば夢の如く又美しき絵巻物を見る心持ちである。卒業近い今日今更回顧して感慨に耽けるは愚に等しきも、凡夫は矢張り昔を思ふ。赤間先生のお名前にはぢぬ赤き心も一ヶ年御指導せられた功も空しからず、今日の査閲成績は良好

なりとのおほめにあづかり、有難く嬉しく感謝されし。今後尚益々其の声価を随さざらんと欲す。山間より田園より海辺より響の音に応ずる如く集ひ寄り四十の若人は今再び世に出でんとする。

理想の殿堂を辞して又再び山間に田園に海辺に帰る、もとより行くもの一人である。若人われらの行く手に伏魔の城は頑張つて居ることであらうとも、われらの力は必ず打ち勝ち打ち克ちて前進するであらう。雨につけ風につけ嬉しきにつけ苦しきにつけ思ひ出すはわれらが唯一の理想の殿堂、自治の寮に外ならぬと信ずる。

「行も帰るも皇国の為め」とある軍人は言はれた。僕等だつて皇国の為めなら何でもやる。一ヶ年間の講習所の生活。外面より見れば致「致」つて平凡である。人が見たら何等の異状も認めまい。だが心の中に潜む日本魂の輝きを誰が知らう。現実には則せざる夢想を消して現実界に腰を据へて理想は高く次第に参る上るばかり。異状はこればかり。この異状、僕の外に誰が知る？

十二月二十四日 木曜日 晴 伊藤正憲

起床六時、両班掃除ヤル後皇国運動ヤル。最後ダト思フト実ニ力ガ入ル。礼拝ヤリテ食事スル。今日ハ終了式ダ。思ヒ出セバ昭和五年一月廿日ニ入学シテ以来二年間ノ修業モ終リ、故郷ノ巢ニ帰り、世ノ中間ニ入り活動ヲヤルト思フト、肉ガオドルノカ、悲シイノカ、胸一パイニ溢ルル。終了式ハ十一時ニ始ル。川村知事田辺大佐他諸先生ガ臨席サレ、実ニ我等ニトツテ此ヨリノ生活ニ最モ感ジタ。記念写真ヲトリテ終ル。所長先生ハ父兄等ニ講話ヲシル。父兄帰ル。一笑會長高橋先生ガ第十六期生ニ話サル。所長先生ハ又朝鮮開発ニ講話サル。高橋先生ノ旅行費計算ヲ話サル。夜最後ノ茶話会ヲヤル。明日ヨリハ世ノ中ニ足ヲ一歩出シテ世ノ中デハ我等ニ色々ノ仕事ヲ給エヨウトシテオル。我等我等一六会ハ其レヲ物トモセズ投ウテ、ヲシいぎ進め精神ニテ追進スル感エデス。去年ヨリ西垣先生高橋船越両先生他諸先生ヨリ色々我等ノ悪イ所注意シテモライマシテ、実ニ有難イ事ト思ヒマシタ。家庭ニ帰ヘリテハ農場デ習ツタ事ヲ実地シテ立派ナ人間ト成リ万分ノ一デモ思（恩）ヲムクイタイト信ジマス。弥栄

第十六期生中最後ノ事務室当番 伊藤正憲